

創立25周年記念

社会科資料集

あざみ野の

うつくしきゆり



横浜市立あざみ野第一小学校

あざみ野の うっかりかわり

181

横浜市立あざみ野第一小学校

横浜市青葉区あざみ野四丁目6番地1

TEL045-902-7151・7152

は し が き

学 校 長 梶 原 憲 司

今年、あざみ野第一小学校は創立25周年を迎えることができました。同時に、青葉区も、区制発足10周年を迎えました。この10年の間に、学校もまちなちのようすも大きく変わってきました。そこで、その変化を記録に残し、学習に役立たせたいと考え、資料集を改訂することにしました。

あざみ野第一小学校が15周年を迎えたときに、3年生の子供たちを対象に、学校のことやあざみ野のまちのことを学習するための資料として、そのころの先生や保護者の皆さんが協力して作ってくださった資料集がありました。この資料は、学校のうつつりかわりやあざみ野のまちのうつつりかわりについて、とても分かりやすく書かれています。自分一人でも楽しく読み進めることができよう工夫されていました。また、資料も豊富に掲載されていましたので、3年生の社会科学の学習に役立っていました。しかし、10年の時を過ぎて、資料集の内容も最近のデータを付け加えていくこともできず、残部も少なくなってきました。そこで、これまでの資料集の良さを残し、平成6年以降の10年間の変化を書き加えて作り直し、使いやすいものに改訂することにしました。

これからもあざみ野の町は変わり続けていきます。新しい資料集は、全学年の皆さんが生活科や総合的な学習の時間、社会科などの学習をするときに、資料として使えるように先生方が工夫をして作りました。ぜひ、有効に活用して欲しいと思います。

たとえば、この10年間の変化の中には、あざみ野第一小学校の児童数が増えられます。在校生の数は、59年の852名をピークに、その後は、減少に転じ、平成11年には、300名以上も少ない、538名になりました。しかし、その後は再び増加し、今も増え続けています。あと数年で昭和59年の児童数を越えてしまいかもしれません。これは、あざみ野第一小学校だけのことでなく、近隣のあざみ野第二小学校や山内小学校も児童数が増加し、すでに、今のままの校舎では子供たちを収容しきれなくなってしまうました。そこで、平成19年度には、児童数のかたよりを解消するため、黒須田小学校を開校し、通学区域を見直すことになっていきます。これからも、わたしたちのこのあざみ野のまちは、大きく発展していくことと思います。

目次

1. わたしたちの学校

- (1) 学校平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (2) 学校の1年・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (3) 学校行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (4) 全体計画構造図・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (5) 学校たんけん・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (6) 校庭たんけん・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (7) ワイワイランドたんけん・・・・・・・・ 14

2. わたしたちのまち

- (1) あざみ野のまち・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (2) 学校の位置・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (3) 学区のとくちょう・・・・・・・・・・・・ 18
- (4) 学校のまわりの公園・・・・・・・・・・・・ 24
- (5) 商店・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- (6) 農業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- (7) 寺と神社・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

3. 学校の歴史

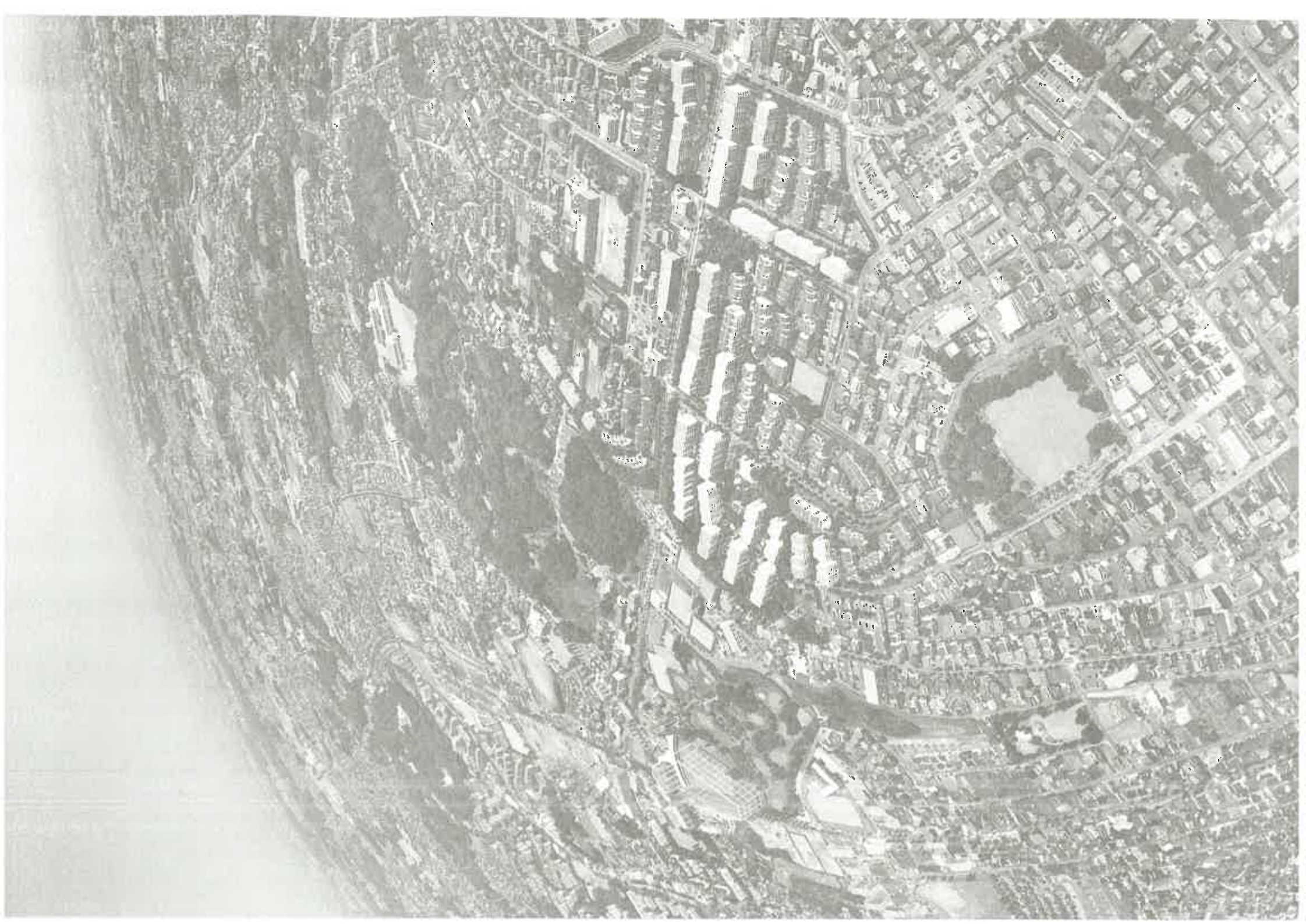
- (1) むかしの学校・・・・・・・・・・44
- (2) あざみ野第一小学校のあゆみ・・・・・・・・46
- (3) あざみ野第一小学校(資料)・・・・・・・・50
- (4) 航空写真・・・・・・・・・・54

4. あざみ野の歴史

- (1) あざみ野の昔をたどろう・・・・・・・・57
- (2) あざみ野地区のうつりかわり(年表)・・・・58
- (3) あざみ野の今と昔(資料)・・・・・・・・60

5. 資料

- (1) あざみ野第一小学校の周り・・・・・・・・68
- (2) 生活科自然たんけんマップ・・・・・・・・70





(2) 学校の1年

(入学して)

4月には、1年生が入学してきます。2年生以上の人は、お兄さんとお姉さんになるので1年生に、いろいろなることを教えてあげたり、いっしょに遊んであげたりしています。

(春のえんそく)

1年生⇨子どもの国 2年生⇨多摩動物園 3年生⇨横浜港
4年生⇨宿泊体験学習《上郷森の家》 5年生⇨つくし野アスレチック
5年生⇨林間学校《富士の裾野》 6年生⇨修学旅行《日光》

(水泳学習)

6月には、水泳学習が始まります。低学年では、水のかっこや、水の中で目を開けてジャンケンゲームや宝さがしなどして水になれて遊んでいます。高学年は、いろいろな泳ぎ方の練習をして記録会なども開いています。

(サマースクール)

夏休みに各学年で希望をとり、自分で考えやりたいことを進める学習を平成16年度より実施しました。

(大運動会)

運動会をおこないます。玉入れ、綱引き、ダンス、組体操、騎馬戦、やっている子どもたちも楽しそうで、見ている人たちも、とても楽しそうでした。

(あざみ野っ子パーク)

総合学習の発表会として1、2年生と3～6年生の発表を2日に分けて行い、また、保護者や地域の皆様にも見ていただきました。

(学校を開く週間)

1日オープンスクールとして、朝から帰りの会までいつの時間でも保護者の方や地域の方が参観できる日として1週間期日をきめて行いました。

(卒業証書授与式)

3月に卒業式をむかえます。6年間のいろいろな思い出を胸に卒業していきまします。1年生の教室を清掃してくれたり、クラブ活動や委員会活動で下級生にいろいろと教えたり、たてわり活動と一緒に遊んでもくれました。

(3) 学校行事

(平成 16 年度)

前期 4 月～10 月

《4 月》

- 5 日 始業式 着任式 入学式
- 8 日 離任式 給食開始
- 9 日 地区班編成
- 12 日 1 年生を迎える会
- 13 日 心臓病検診 授業参観(全)
- 20 日～21 日 健康診断(6 月 30 日まで)
- 22 日 学力検査(2 年～6 年)
- 22 日 集団下校訓練
- 27 日 6 年歴史博物館見学

《5 月》

- 6 日～13 日 教育相談週間
- 14 日 避難訓練(火災)
- 18 日 1 年生遠足(こどもの国)3 年生遠足(横浜港)
- 19 日～20 日 6 年生修学旅行(日光)
- 25 日 2 年生遠足
- 5 年生遠足(つくし野アスレチック)

26 日～27 日

4 年生宿泊体験学習(上郷森の家)

《6 月》

- 14 日 避難訓練
- 17 日 ゴール開き
- 22 日 4 年生元石川消防署見学

《7 月》

- 2 日 25 周年航空写真撮影(全)
- 5 日 国際平和スピーチコンテスト(6 年生参加)
- 14 日 こどもアトリエ参加(5 組)
- 16 日 たてわり除草活動(全)
- 20 日 夕涼み会(17:00～20:00)
- 20 日～28 日 教育相談週間
- 21 日～22 日 5 年生林間学校(富士の裾野)
- 27 日～29 日 サマースクール(希望者)

《8 月》

- 16 日～24 日 特別水泳(希望者)
- 25 日 水泳大会(希望者)
- 25 日～27 日 サマースクール(希望者)
- 31 日 前期後半スタート

《9 月》

- 8 日 ゴール納め
- 17 日 6 年生ニッセイ名作劇場鑑賞
- 21 日 全校オリエンテーション
- 22 日 歯科巡回指導 1, 2, 3, 5, 6 年, 5 組
- 28 日 5 年生社会科見学(追浜日産自動車)

後期 10 月～3 月

《10 月》

- 8 日 終業式給食終了
- 14 日 始業式給食開始
- 18 日 6 年生市体育大会(国際競技場)
- 19 日 交通安全教室(全)

《11 月》

- 2 日 25 周年記念大運動会
- 5 日～6 日 5 組宿泊体験学習
- 9 日 区児童音楽会(4 年生参加)
- 10 日 2 年生遠足(すすき野アスレチック)
- 11 日 1 年生遠足(王禅寺公園)
- 16 日 1 日オープンスクール
- 17 日 避難訓練(消防署来校)
- 19 日 4 年生遠足(三保ダム)
- 6 年生市球技大会参加

《12 月》

- 3 日 人権車椅子体験学習
- 3 日～10 日 学校を開く週間
- 8 日 あざみ野っ子パーク(1, 2 年)
- 9 日 あざみ野っ子パーク(3～6 年 5 組)
- 13 日 3 年生社会科見学(雪印)
- 14 日～21 日 児童作品展
- 教育相談週間
- 16 日 不審者対応訓練(全)
- 22 日 給食終了

《1 月》

- 11 日 給食開始
- 17 日 書き初め展
- 18 日 市音楽会参加(音楽クラブ)
- 20 日 6 年生東京見学
- 24 日 給食週間 4 年生歯科巡回指導

《2 月》

- 2 日 4 年生 2 / 1 成人式
- 25 日 5 組合同学習発表会
- 25 日 1 日オープンスクール
- 3 年生クラブ見学、クラブ発表会

《3 月》

- 9 日 6 年生を送る会
- 17 日 給食終了
- 18 日 第 25 回卒業証書授与式
- 25 日 修了式



(4) 全体計画構造図

あざみ野第一小のみんなの願い

- 優しく思いやりのある子
- 相手の考えを理解し、自分の考えを正しく主張する子
- 生命の尊厳を知り、身近な人や動物等を大切にしている子
- 交友関係を広げ、よりよい人間関係を築く子
- 偏見や差別に気づき、認め合い支え合うことを大切にしている子
- 自分で考え、自分で判断して、行動する子
- 自分なりに工夫して問題を解決し、物事に主体的に取り組む子
- 自分らしさを発揮し自分の思いを表現できる子

あざみ野第一小の重視する成長課題

- 自他の生命や生き方を大切にしようとする。
- 相手の考えを理解し、自分の思いを表現しようとする。
- 多くの人とふれあい、相手の考えを理解し、学び合おうとする。
- 交友関係を広げ、人間関係を築こうとする。
- 認め合い、支え合うことを大切にしようとする。
- 自分らしさに気づき、自分のよさや可能性を伸ばそうとする。
- 身近な人や自然へ興味関心をもって主体的に取り組もうとする。

夢いっぱいあざ一小

学習課題の重点化
共生 個性 自立 学び合い

学校教育目標

互いのよさを認め合い、支え合いながら、それぞれの夢や希望の実現に向けて、主体的に取り組む子どもを育てます。

具体目標

- 一人ひとりのよさを認め合い、豊かな心を培う人間関係を大切にします。(共生)
- 一人ひとりの能力や個性が発揮される学習環境をつくり出します。(個性)
- 様々な課題や困難に、粘り強く立ち向かっていく力を育てます。(自立)
- 新しい考えや発想のすばらしさを率直に讃え合い、学ぶことのすばらしさを(学び合い)実感し、学び合いの質を高めていくことを大切にします。

開かれた学校づくり

特色ある学校づくり

成長過程の目標

成長過程	共生	個性	自立	学び合い
低学年	身近な人たちとふれあうこと、楽しさを感ずることができ、活動を楽しめることを大切にします。	感じたままを素直に表現する活動を大切にします。	いろいろな活動を通してルールや約束を守ることを大切にします。	友だちや他の人のよいところを認めようとする心を育てます。
中学年	友だちや地域の人々とのふれあいを通し、相手の気持ちや立場を考え、行動を大切にします。	自分の好きなことを見つめ、中になつたり伸ばしたりする活動を大切にします。	自分の考えを持ち、自分で決めたことを最後までやりぬく力を育てます。	人との出会い、自然との関わりの中で長く見聞きし、考えを深めようとする態度を育てます。
高学年	多くの人とのふれあいを深めながらともに認め合い、支え合う活動を大切にします。	自分らしさに気づき、自分のよさや可能性を伸ばそうとする活動を大切にします。	自ら課題を見つけ、主体的に取り組もうとする態度を培います。	自分らしさを生かして活動し、他の人と学び合おうとする力を育てます。

各教科、道徳、特別活動

教科等	各教科、道徳、特別活動の指導の重点
国語	・ 国語を通じて表現し、正確に理解する能力を養い、互いの立場や考えを尊重しながら言語で伝え合う能力を高めます。 ・ 社会的現象の意味を追求する中で、自分の見方、考え方を発見し、社会の多様性や個性に関わりあうことを大切にします。
社会	・ 数量や図形についての多様な体験や算数的活動を通して基礎・基本の定着を図り、互いの考えのよさを学び合う中で問題解決力を高めます。
理科	・ 自然に親しみ、観察や実験などの体験を生かしながら、主体的な問題解決活動を通して自然の仕組みや規則性を発見し、日常生活に生かせるようにします。
生活	・ 身近な人・社会・自然とかわる活動や体験を通して、それらとのかわりや気づきを大切にします。
音楽	・ 生活の中で主体的に音楽に親しみ、友だちと多様な音楽表現を楽しみながら豊かな心を育てます。
図工	・ つくり出す喜びを味わいながら、自分の思いや願いを表現する造形活動を大切にします。
家庭	・ 家庭生活への関心を高めるとともに、生活の自立の基礎を培い、よりよく生活を工夫しようとする態度を育てます。
体育	・ 一人ひとりのためめを大切に、友だちとの学び合いを通して自ら工夫し、運動を楽しむとともに健康の保持増進と体力の向上を図ろうとする態度を育てます。
道徳	・ 自他の人格の尊重と生命への敬愛の念を基盤とし、集団の一員としての自覚を高め、主体的に自己を深く見つめ、よりよい生き方を求めようとする心を育てます。
特活	・ 集団の一員としての自覚を持ち、協力してよりよい生活や豊かな人間関係を築こうとする実践的態度を育てます。

総合的な学習の時間

総合的な学習の活動	あざ一わくわくタイム
◎人と出会い、自然とふれあいながら個性・能力を大いに発揮し、生きる力を育てます。	
全校の取り組み あざみ野っ子パーク	
各学年の予想される活動	
第3学年 発見しよう、私たちの住む町お年寄りとのふれあいをとおして	
第4学年 上郷 宿泊体験 目の不自由な人と共に二分の一人式を祝おう	
第5学年 林間学校 富士山麓の自然を調べよう 田んぼ作りに挑戦	
第6学年 思い出 日光 すてきな未来に向かって自然探検とかかわって輝ける卒業のときを迎えよう	

教育課題の取り組み目標

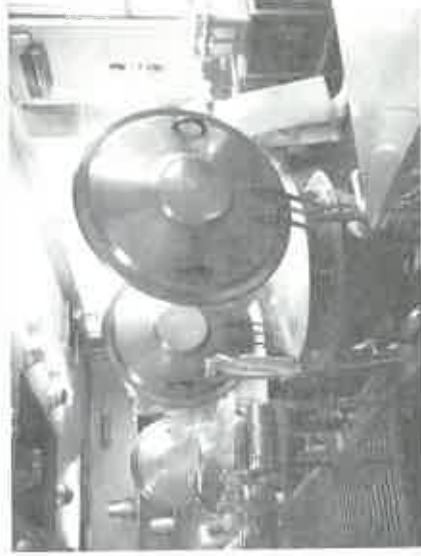
人権 同和	自他の人格を尊重し、互いの個性を認め合いながら豊かな人間性を育てます。
福祉	様々な立場の人々とのふれあいを通して自立と共生の精神と実践力を育てます。
国際理解	国際社会の一員としての自覚をもと、豊かな心で広く世界を向け、互いのよさを認め合うことができるようにつなげます。
環境	身近な飼育栽培活動を通して環境に対する感性と主体的に行動する実践的な態度を培います。
情報	情報機器や図書・資料の充実をはかり、情報の収集や選択伝達しようとする態度を育てます。
健康	心身の健康や生活習慣、食生活等に関するよりよい態度を育てます。
障害児	個々の状態を的確に把握し、一人ひとりが生きる喜びを実感しながら自ら活動する活動大切にします。
児童指導	自分で考え、判断し、解決に向けて行動できるようにするとともに、社会や環境の変化に対応できる子どもを育てます。

基礎・基本の定着

学習の総合化



校長室 (こうちょうしつ)



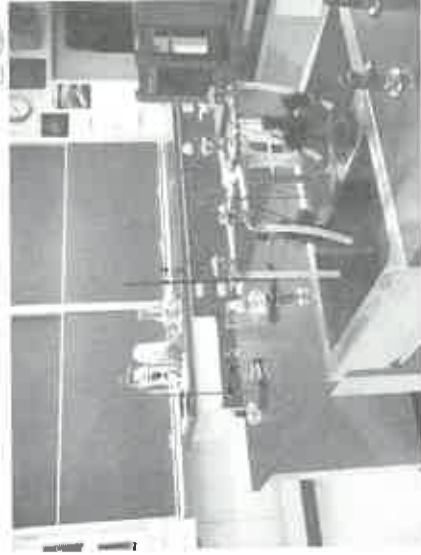
給食室 (ぎゆうしょくしつ)



保健室 (ほけんしつ)



図書室 (としよしつ)



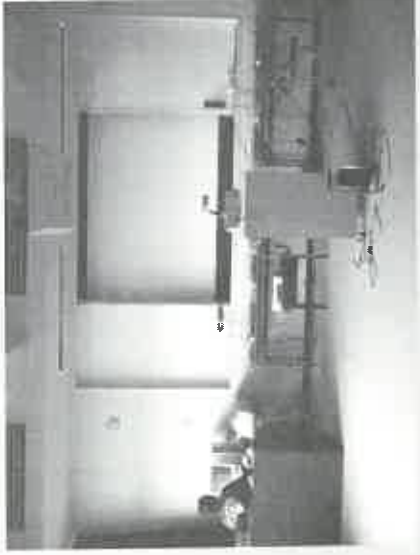
理科室 (りかしつ)



音楽室 (おんがくしつ)



家庭科室 (かていかしつ)

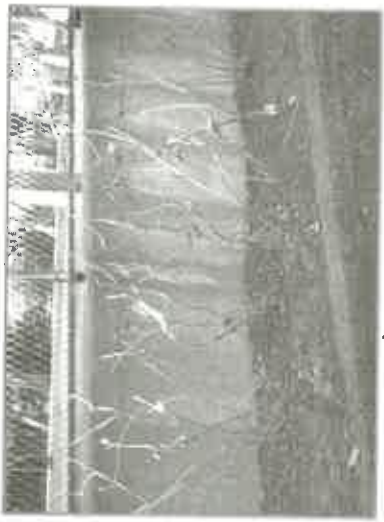


視聴覚室 (しちようかくしつ)

こうてい (6) 校庭たんけん



くす



あじさい



やまざくら



たけ



うめ



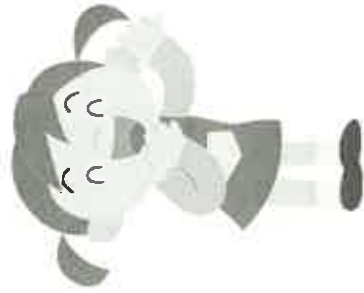
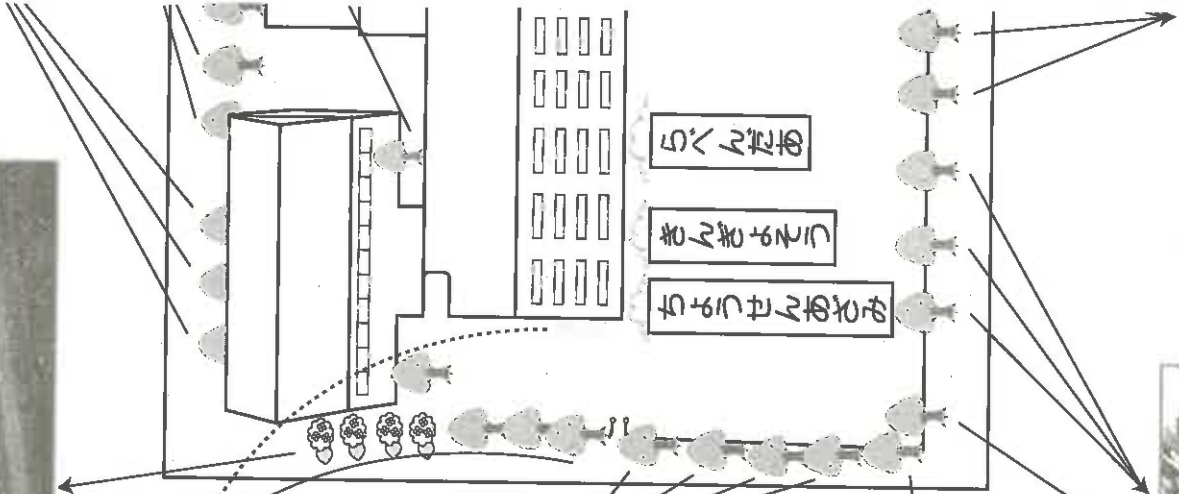
もみじ



もくせい



たぶ

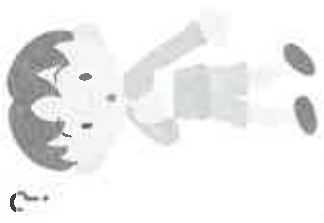




まてばしい



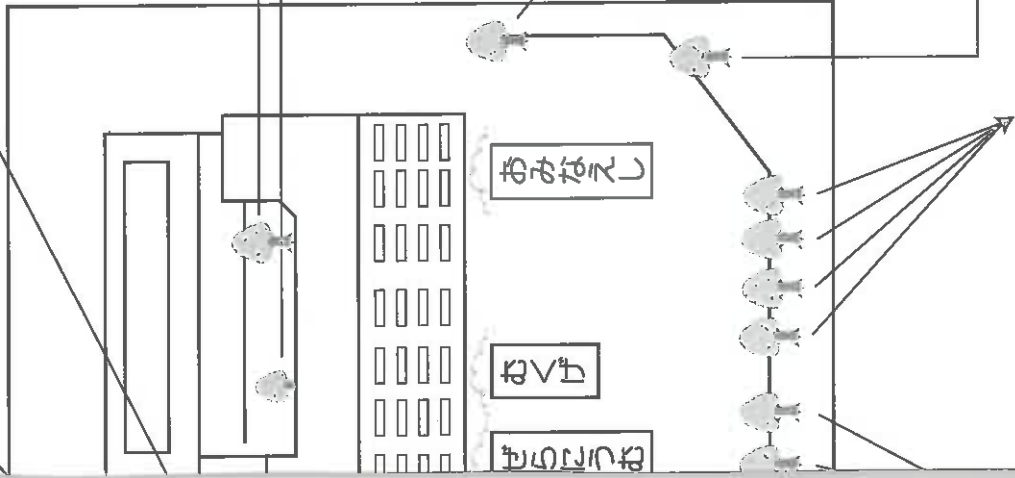
ばんぺいもも



しらかし



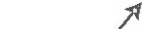
たいさんほく



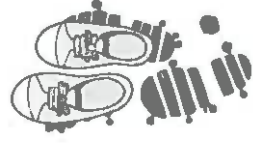
おひつり

おんち

おんち



かつら

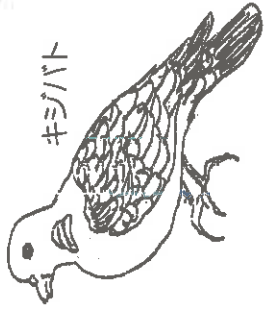


そめいよしの

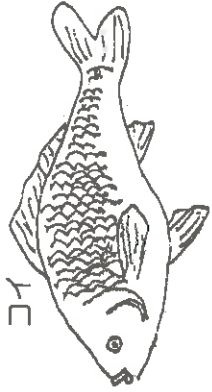


しらかし

(7) ワイワイランドたんけん



キシバト



コイ



アメンボ



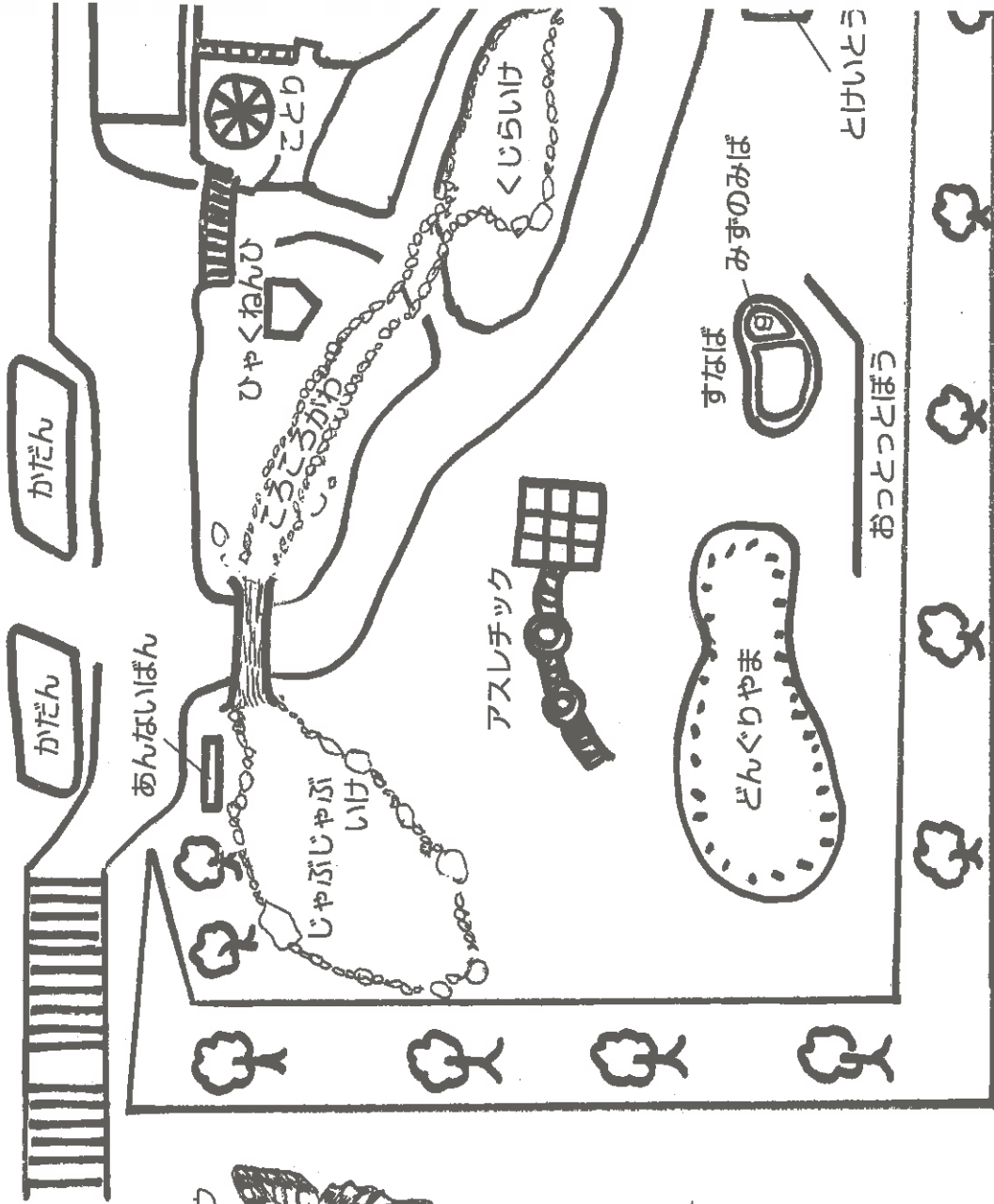
ハチ



ダンゴムシ



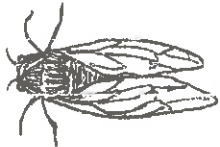
トンボ



アゲハチョウ



アラゼミ



ドンクワ

メダカ



オタマシヤクシ



カエル



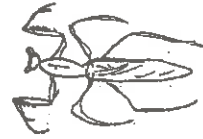
タニシ



アメリカザリガニ

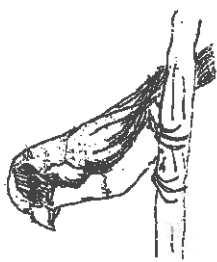


キンギョ



カマキリ

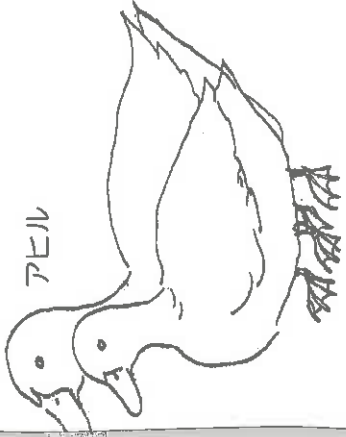
ジユウシマツ



コガネムシ



アヒル



チャボ

ネコシヤラシ



ウサギ



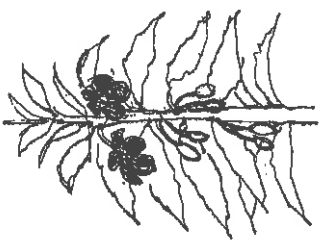
タンポポ



モルモット



ホウセンカ



トマト



アヒル・チャボ

ウサギ・モルモット

アヒルいけ

ヤギこや

ブロックいけ

ハチマ

ひやくようぼ

いれいひ

デントウムシ



ヤギ



ミミズ



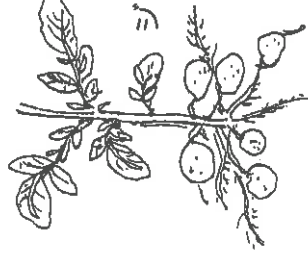
コムギ



アリ



ジャガイモ



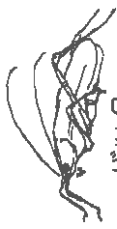
ナス



キャベツ



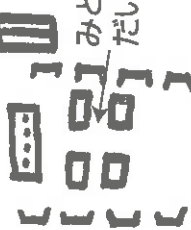
パツタ



ヘチマ



みどりの
だいどころ



コーンポスト



ブロックいけ



つるれいし
ホウセンカ



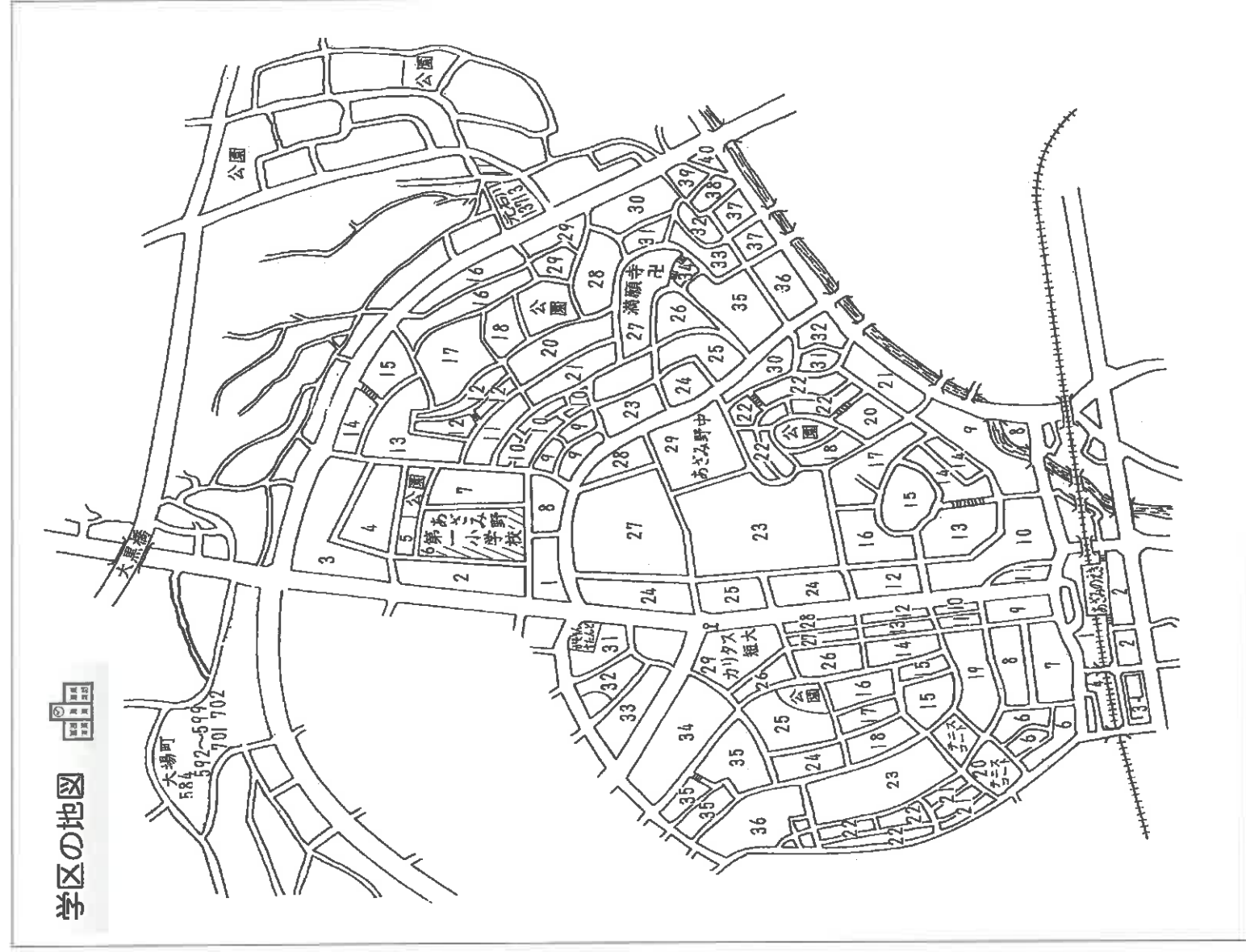
《のびのびばたけ》

むぎ ジャガイモ
そば そのほかやさい

《のびのびばたけ》

(2) 学校の位置

あざみ野第一小学校は、あざみ野駅からゆるやかな坂を西に約1 kmのぼったところにあります。学校の東側にはあざみ野団地やあざみ野中学校があり、北側には住宅地のほかに農地や神社などもあります。南側には住宅地が広がり、西側には林も見られます。



(3) 学区のとくちよう

① 学校のまわりのようす

学校のまわりは家がたくさん建っている住宅街です。マンションなどの大きい建物もあり、公園もあります。それでもところどころに畑があり、果物を育てている農家もあります。雑木林が残っているところもあります。横浜市の中でも住宅がとても多いまちであり、今も増えつづけています。

マンションなどの大きい建物もあります。



あざみ野駅周辺の様子



学校の東には国道246号線、東名高速道路があり車での移動が便利です。また、バスの路線が多く、電車も東急田園都市線と横浜市営地下鉄があり、交通の便がよいまちといえます。そのため通勤にも便利で、住みたいと思う人が多い人気のまちです。

②学区の土地利用図

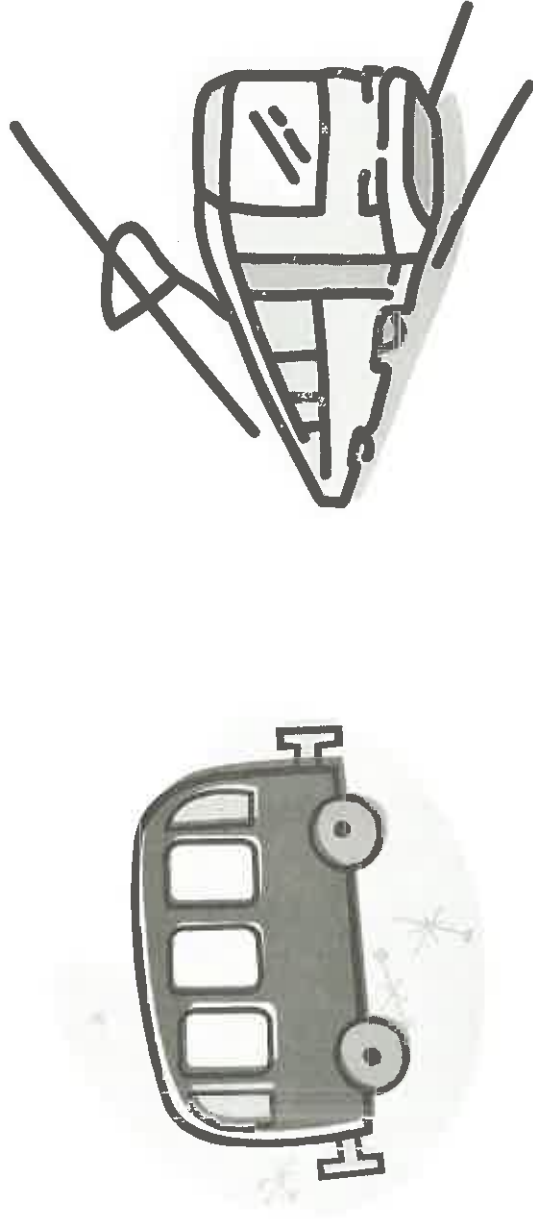
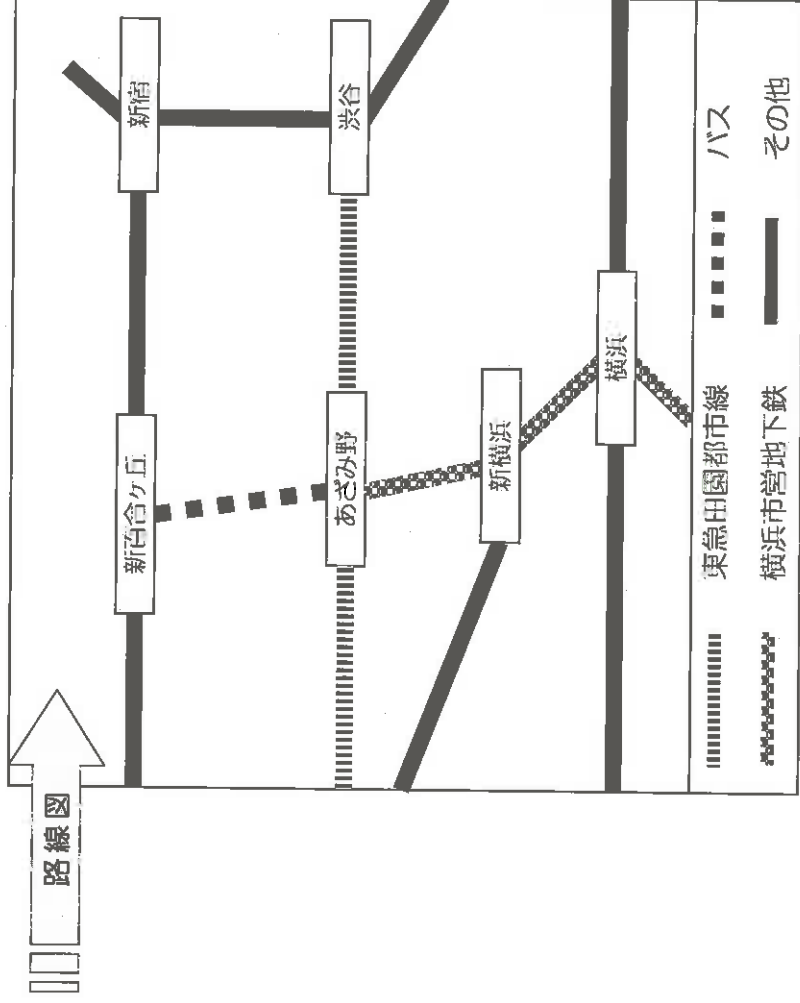


③学区の人の流れ

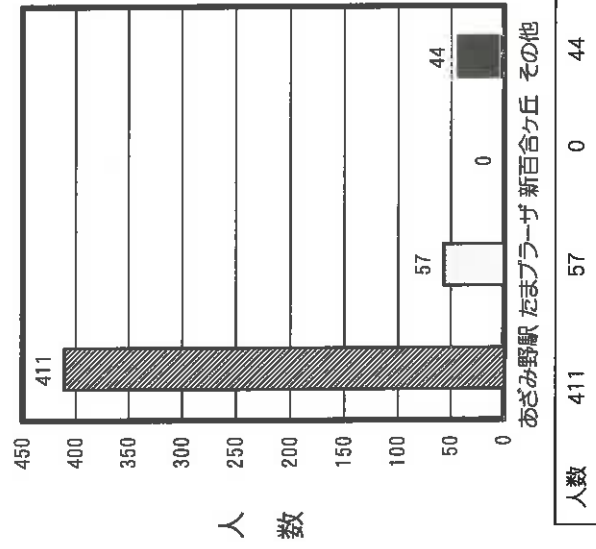
下の(ア)のグラフを見ると、みなさんの家の人が仕事に行くときには、多くの人があざみ野駅を利用してることが分かります。駅までは(イ)のグラフから、多くの人歩いてることが分かります。

路線図からも分かるように、あざみ野駅からは、横浜方面、東京方面へと電車が伸び交通の便のよいところです。

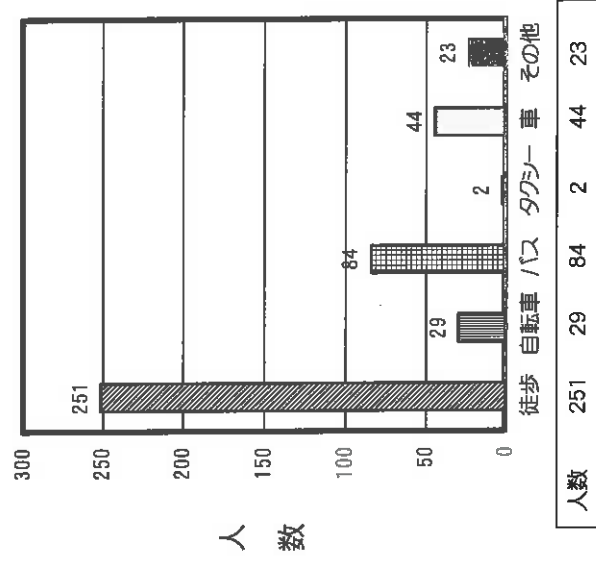
(ウ)のグラフを見るとみなさんの家の人の多くが、東急田園都市線を利用して東京方面へ通っていることが分かります。



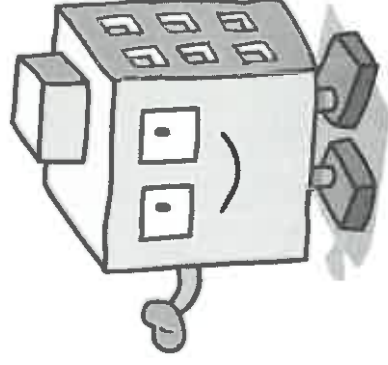
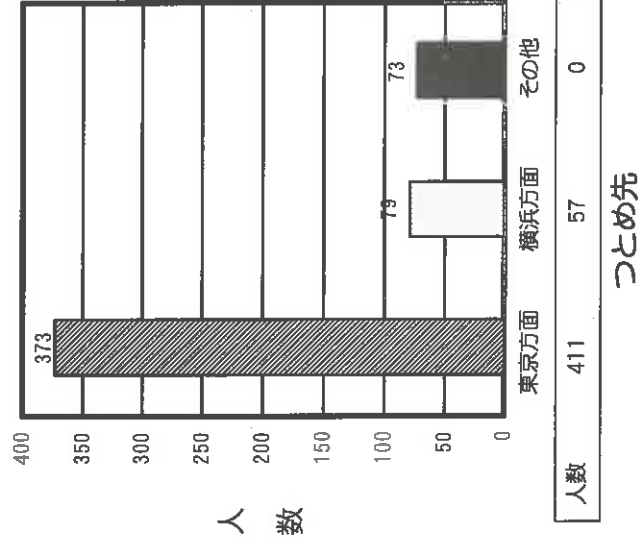
(ア) 通勤に利用する駅



(イ) 駅までの交通手段



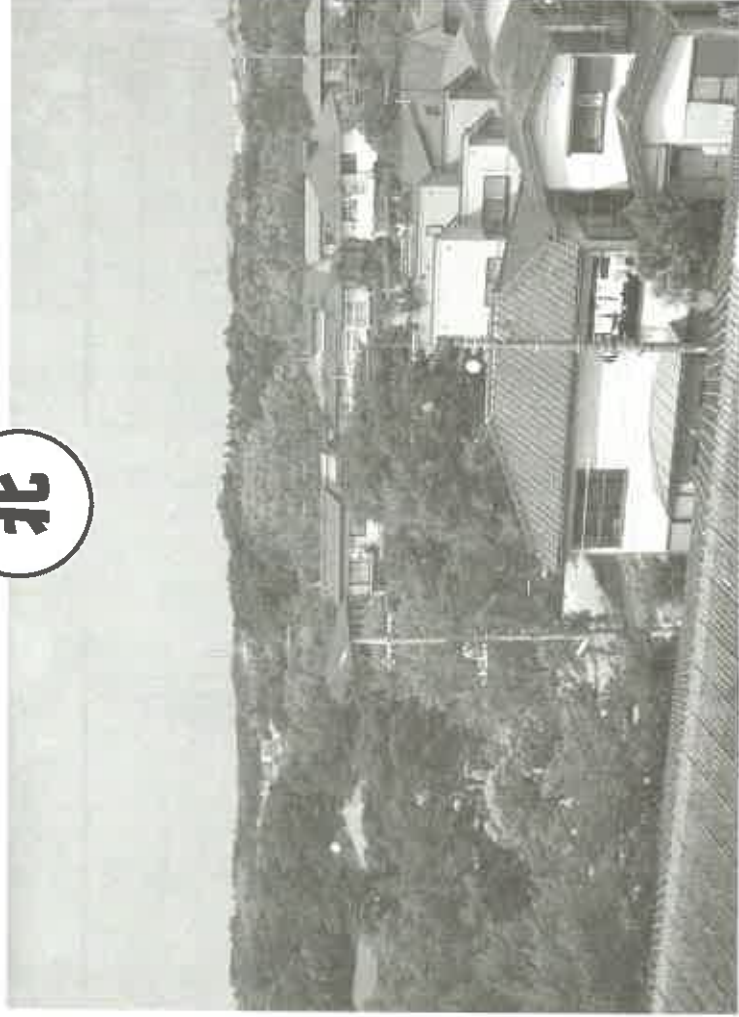
(ウ) つとめ先の方向



④屋上からのながめ



北

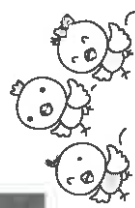


西

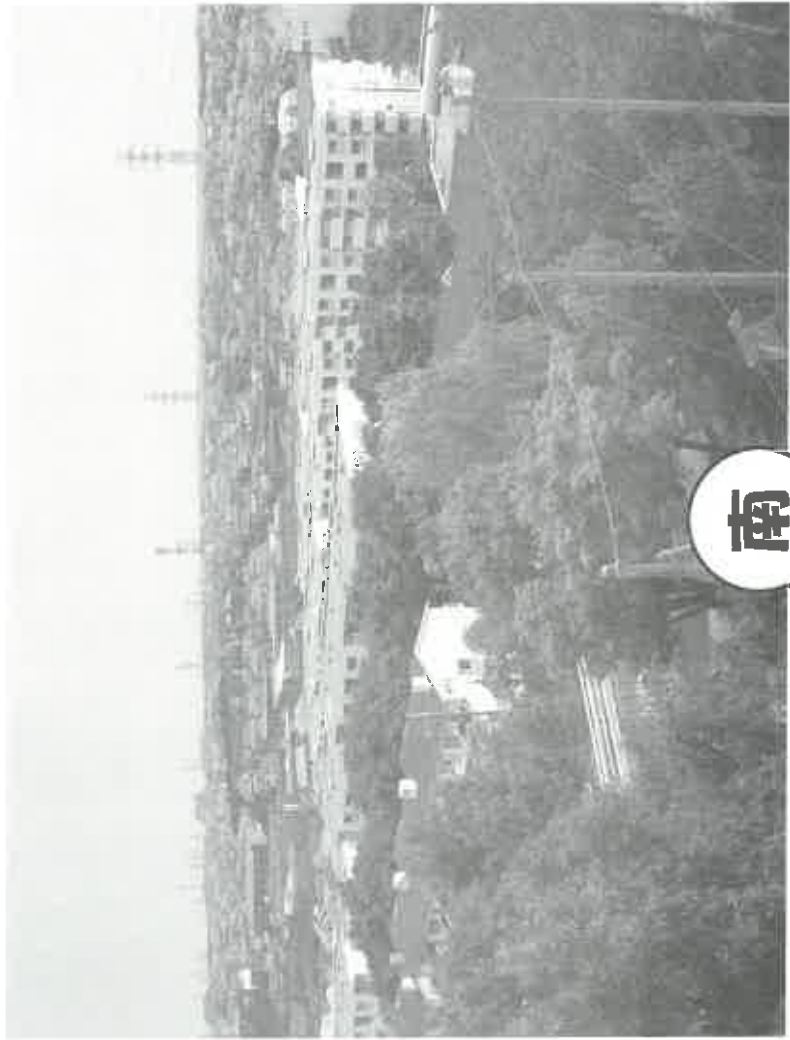




東



南

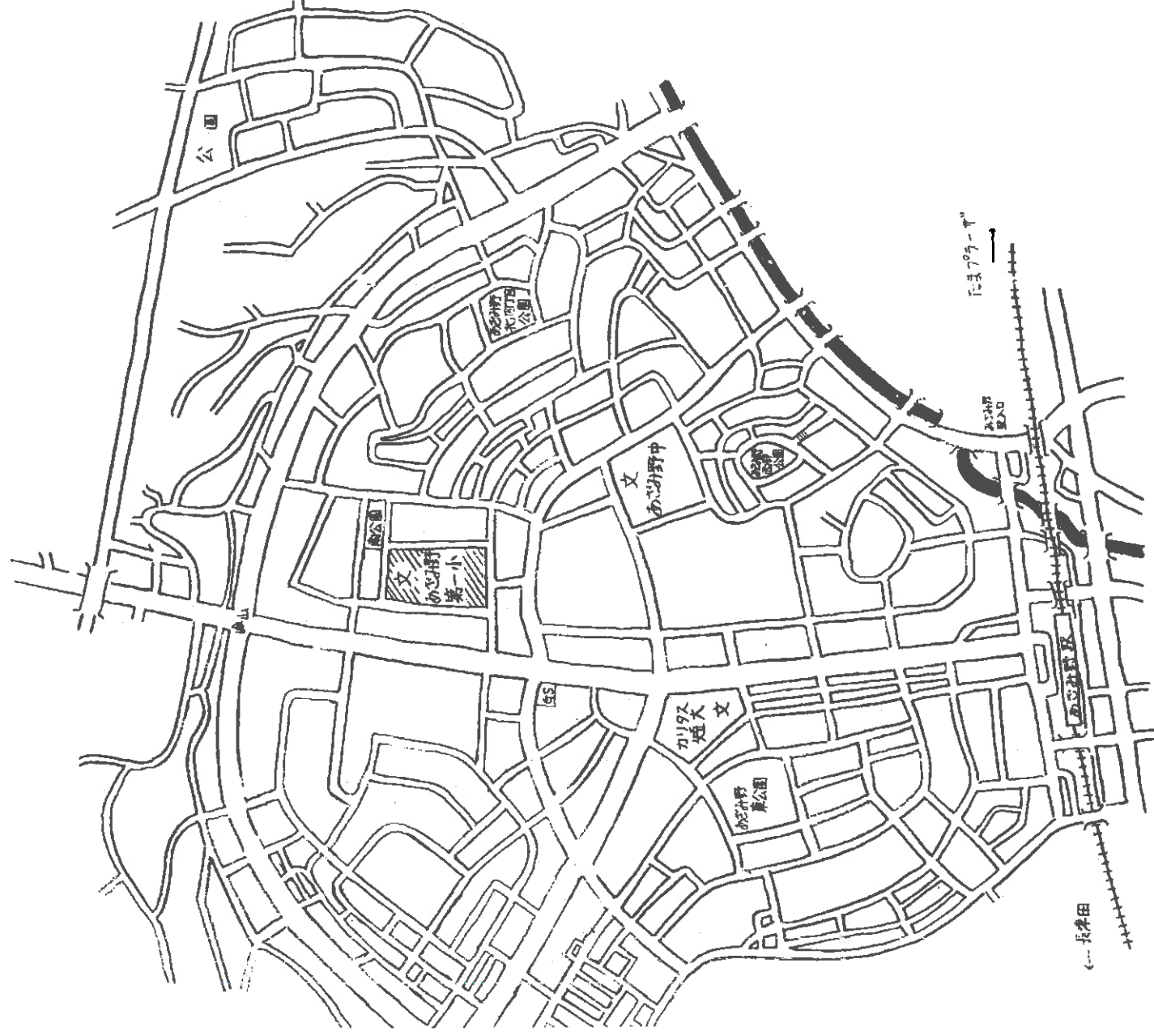


(4) 学校のまわりの公園

みなさんは、公園で遊んだことがありますよね。このあざみ野第一小学校の学区には、公園がいくつありますか。大きな公園や小さな公園、古くからある公園もあれば、新しくできた公園もあります。

公園には、どのような人がやってきますか。公園にはどのようなものがありますか。また、みなさんの利用する公園が、いつも使えるように仕事をしている人は、だれなのでしょう。そして、公園はどのようにしてできたのでしょうか。

みなさんで、公園のことを調べてみましょう。



①公園の管理について

公園を管理しているのは、西部公園緑地事務所です。公園内の樹木の剪定、除草・清掃、施設の補修など維持管理と公園愛護会の育成、野球場や庭球場などの運動施設の利用調整、西洋館や古民家、自然体験施設の運営などの運営管理を行っています。

さらに、街区公園や近隣公園などの身近な公園は、子どもたちが安心して遊べることもちろん、地域の憩いの場やコミュニケーションの場であり、災害時の一時避難場所としても利用されます。このような地域の共通財産である身近な公園は、地元の方々に結成された「公園愛護会」の協力により、清掃、除草などが行われています。

「公園愛護会」の主な仕事

- ①公園を掃除すること。
- ②遊具の管理。
- ③砂場の砂などが足りなくなったら足すこと。
- ④公園の木を管理すること。

②あざみ野にある公園

名 前	開園年月日	面積 (㎡)
あざみ野一丁目公園	H1. 6. 24	7, 700
あざみ野一丁目第二公園	S60. 6. 25	303
あざみ野一丁目第三公園	H13. 6. 25	1, 709
あざみ野三丁目公園	S60. 12. 5	2, 553
あざみ野三丁目東公園	S59. 1. 25	1, 509
あざみ野四丁目北公園	S56. 4. 1	8, 735
あざみ野四丁目南公園	S55. 3. 25	4, 884
あざみ野四丁目西公園	S59. 1. 25	16, 010
あざみ野東公園	S63. 6. 25	13, 528
あざみ野南宇多り公園	H8. 3. 25	2, 739
あざみ野鍛冶谷公園	H8. 3. 25	2, 750
あざみ野南三百久保公園	H8. 3. 25	2, 320
あざみ野南大六天公園	H8. 3. 25	2, 750

あざみ野南公園

周りが木々で囲まれ、学校の近くで子どもたちから「もぐら公園」と呼ばれ親しまれている公園



【施設】遊具（ブランコ・鉄棒・アスレチック・砂場・幼児用乗り物）

あざみ野東公園

いこいの場所・遊具・芝生の広いグラウンドのある子どもからお年よりまで楽しめる公園



【施設】芝生のグラウンド・憩いの場所・遊具（3種類のアスレチック・すべり台・ブランコ・砂場・幼児用乗り物）



あさみ野西部公園

木立の坂をはさんで上に遊具場と長い階段の下に広いグラウンドがあり「ライオン公園」と呼ばれて子ども達から親しまれている公園



【施設】グラウンド・遊具（ブランコ・砂場・アスレチック・ロープウェー）



あさみ野北四丁目公園

上に遊具、下にはどんぐりなどいろいろな木の実がたくさん取れる森がある公園



【施設】豊かな自然の森・遊具（すべり台・砂場・ブランコ・うんてい・幼児用乗り物
バスケットゴール1台

(5) 商店

☆ぶんぼう具屋さん

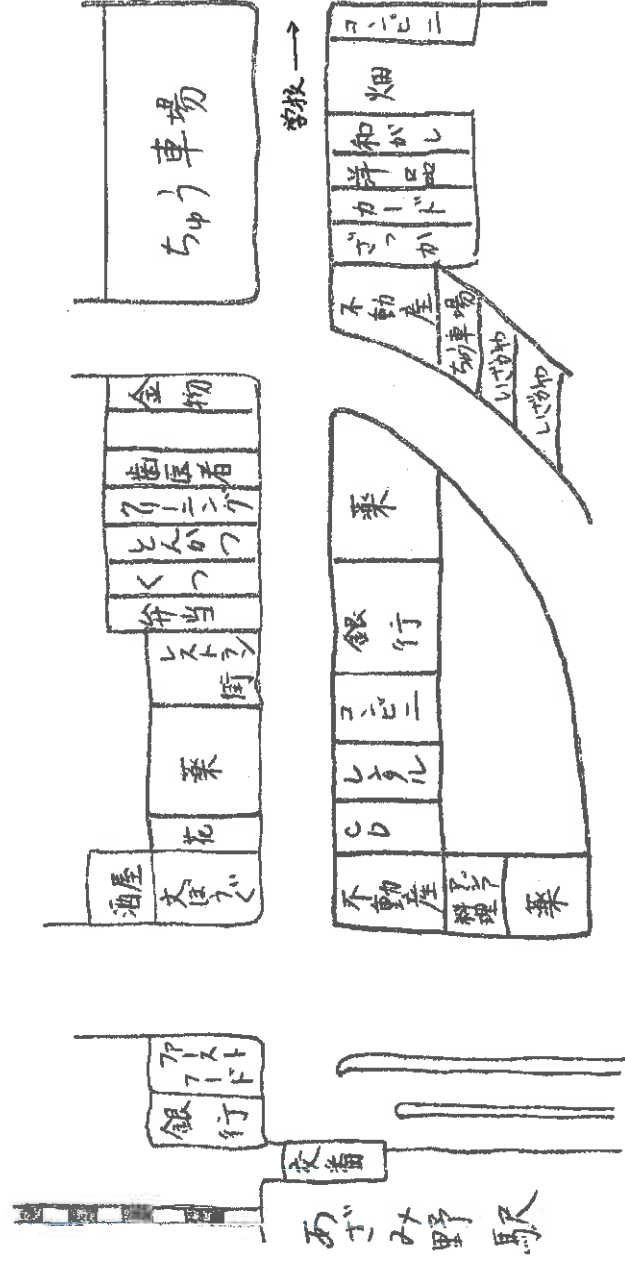
つづりひも、そろばん粉、しよらじのりなど、昔ながらの品物から、ファッショングッズや、専門用具まで、幅広い商品をそろえています。



お客さんに「あつてよかつた。」と思われのお店作りを目指しています。



あざみ野のまちの商店



☆ミニスーパー

品物について、会話をしながら、安心して買い物をする事ができます。
品物のならび方や、ねだんも見やすく工夫しています。



お惣菜
洋食
和がし
中華料理
洋服
美容院
中華料理
美容院
せつ院
とんかつ
電気
クリーニング
クリーニング

洋服
花
食料品

← 駅

曾根 →

そば
洋食
音楽教室
弁当
ゴルフ
理容室
びんかや
クリーニング
美容院
不動産
酒屋
タバコ
洋服
信用金庫
めがね

車
ほろ器
アイス
アイス



☆そば屋さん

当店では、北海道・福島ほっかいどう ふくしまでしゅうかうかくされたそばの実を使っています。
 石臼いしうすを使って、ていねいに粉こなにして、毎朝、そばを打っています。
 できたてのおいしいそばを、みなさんに食べてもらいたいと思っています。



三三三
 ケーキ
 アパート
 アース
 リオ
 ホン
 不動産
 写真

洋服
 パン
 デザイン
 洋服
 洋服
 キー
 お好み焼
 いざかや
 洋服
 理容室
 内とう
 いざかや

←取

カリタス女子短期大学

レストラン街

学校→

本
 コーヒー
 ペットショップ

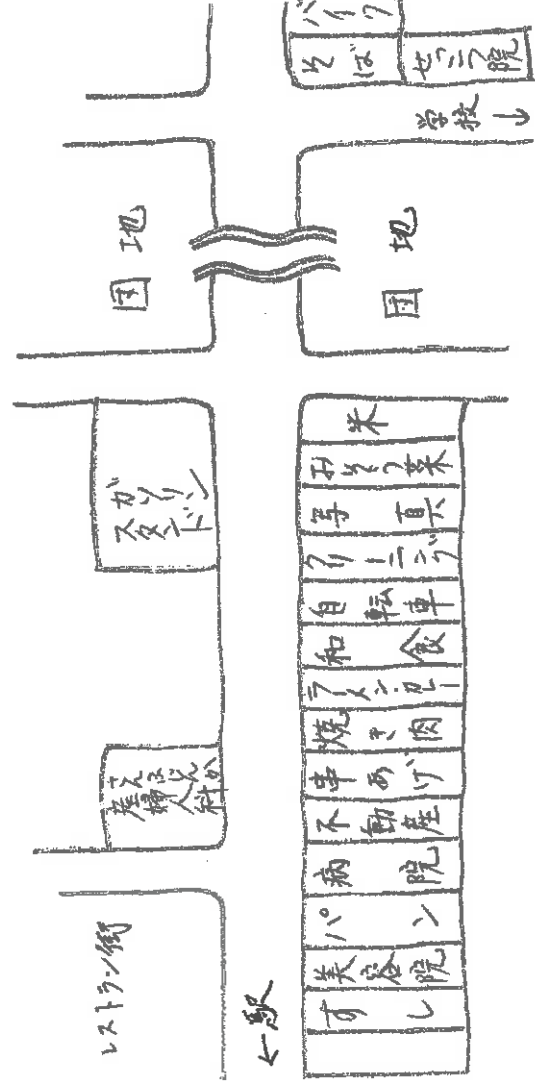
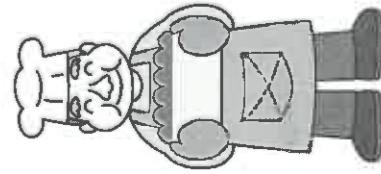
コンビニ
 中華料理
 洋食
 ばー
 ー
 ニ
 ー
 ー
 ー



☆パン屋さん

ひとつのパンが焼きあがるまでに
3～5時間くらいかかります。

朝早くから、夕方まで休みなく、
焼きたてのパンをみなさんに食べて
もらえるように、くふうしています。



☆商店街のくふう

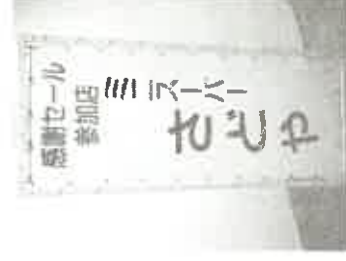
商店街のお店どうしは、どんなくふうや、きょう力をしているのでしょうか。



きれいなまちなみ



感謝セール



あざみ野まつり



あざみ野商店会会長さんのお話

あざみ野商店会では、地いきとつながるお店やさんとして、

いろいろな取り組みを行っています。

まずは、お客さんへの日ごろの感謝かんしきの気持ちを表して、年2回(7月・12月)「感謝セール」を行なっています。その他にも「あざみ野まつり」は第18回かいさいをむかえ、長く続けていきたいという思いから、5つの自治会と実行委員会を立ち上げ、開催しました。

また、学校のPTAの方々とともに「防犯パトロール」にも取り組んでいます。最近では、あざみ野中学校の生徒による「職業体験実習しよくあひたいけんじっしゆ」にも、協力させていただきました。

昭和52年(1977年)ごろ、あざみ野のまちは、建物はほとんどありませんでした。その後、まちとともに発展はつてんし、現在のあざみ野駅前商店会となることができました。これからも、地いきの人たちとともに歩む商店会を目指していきたいと思えます。



☆スーパーのようすとくふう

スーパーでは、一か所で食品から、衣料品・日用品までいろいろなものを買えるのでとても便利です。大型^{ちやうじやう}駐車場があるため、週末などにまとめ買いをするお客さんも多いです。



レシのようす



駐車場のようす



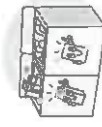
リサイクルコーナー



ぜいひようき
製氷機



焼いも作り機



☆コンビニエンスストアのようすとくふう

24時間いつ来ても便利に買い物をする事ができます。今では、チケットの予約、公共料金の支払いなどが増えています。時間に応じて、お年寄りから子どもまで、いろいろなお客さんがやってきました。



外のようす



分別ゴミ箱



あつあつ 肉まん・おでん



A T M



コピー機



(6) 農業

わたしたちのまち「あざみ野」は数十年前までは農業や、林業が中心の地域でしたが約30年前に関発が始まったところから宅地が増え続け、今では農業をする家はごくわずかになってきました。このような時代の流れの中でも、農業を続けている松本さんの「野菜作り」と吉村さんの「梨作り」を通して農業をする人の工夫や苦労について調べてみましょう。

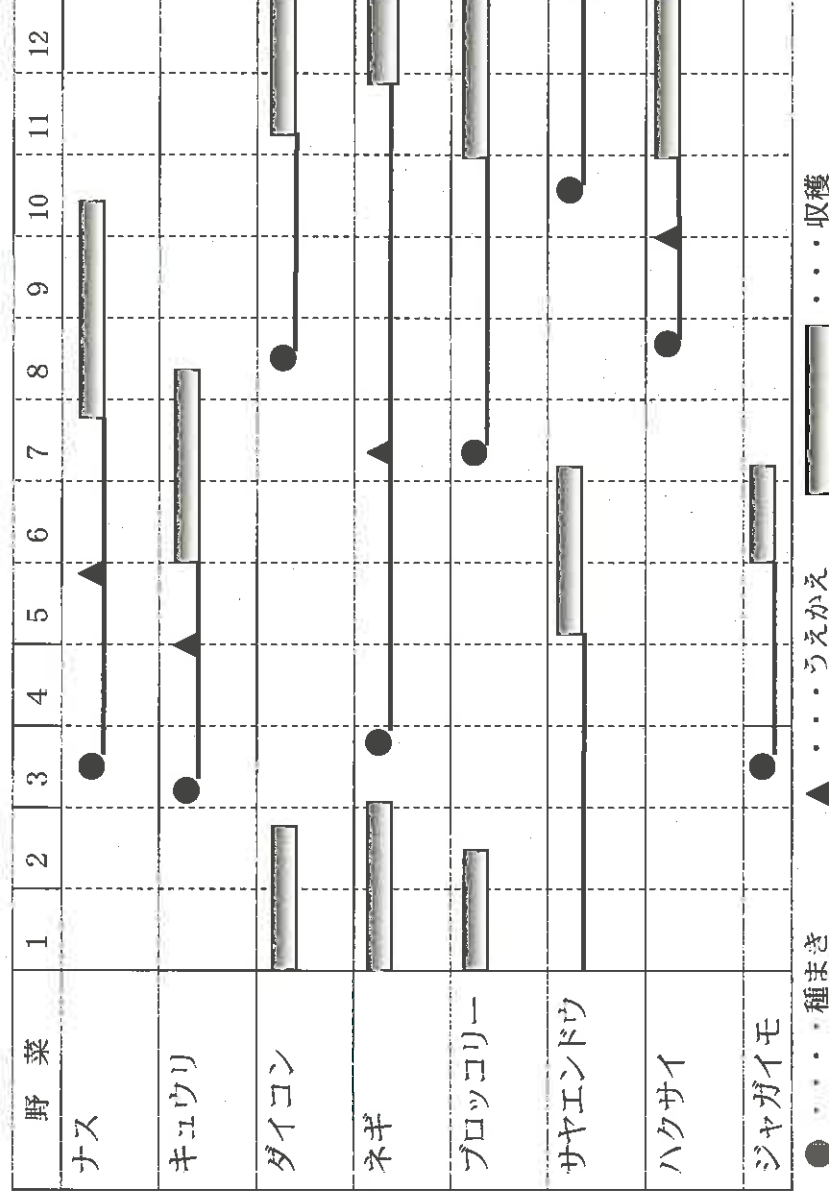
①松本さんの野菜作り

松本さんの家は小学校の正門前の道路をはさんで向かいにあります。住まい近くの畑に1年間を通していろいろな野菜を作り、どの時期にも野菜を収穫して、販売することができるようになっています。その種類は約30種類にもなります。

1年間に作られる主な野菜

春	夏	秋	冬
竹の子・ジャガイモ	キュウリ・トマト・ナス	サツマイモ	コマツナ・ハクサイ
サヤエンドウ	カボチャ・ピーマン	レタス	ホウレンソウ
スナックエンドウ	シシトウ・エダマメ	コマツナ	ダイコン
ソラマメ	トウモロコシ・毛ロヘイヤ	ブロッコリー	ナガネギ
グリーンピース	ショウガ・オクラ		サトイモ

農事ごよみ



野菜は自宅で消費者へ直接販売し（直売）、市場への出荷はしていません。

夏は気温が高く、収穫できる野菜の種類も多いので、朝5時ごろから収穫の作業を始めます。午前中に、たばねたり袋に入れたりして、売る準備をします。それを午後から販売します。その日にとれたものをその日のうちに、消費者の手に渡すことが出来ます。

消費者の顔を見て販売するので野菜の安全性には特に気を配っています。土づくりには、米ぬかや落ち葉、木のせんてい枝（チップ状のもの）、野菜クズに米ぬかや鶏ふんを混ぜ発酵させた自家製のたい肥をつかいます。化学肥料は土が固くなりやすいのであまり使いません。よい土には栄養がたっぷりあり、健康な野菜が育ちます。それでも、野菜は虫がついたり、病気になることがあります。野菜の様子を見て1～2回消毒することもありますが、できるだけ消毒の回数を少なくしています。



自宅の裏に広がる畑。よい土にしっかりとしたネギが育っています。雑草はほとんど見あたりません。



作物の根元に敷かれたマルチ。野菜の育ちをよくし、雑草が生えるのも防ぎます。

松本さんの話

農業は他の人からは分かりにくい面での苦労が多くあります。自然が相手なので、作物の育ちが天候に大きく左右されます。

よい野菜を育てるために、天気予報は毎日みて、気温、雨・風などの変化に合わせて対策を立てます。台風が来る季節は強風対策として、支柱を立てたり暴風ネットをかけたりします。また、草むしりも大切な仕事です。1年を通して何度も行い、野菜に栄養が行き渡るよう気を配ります。

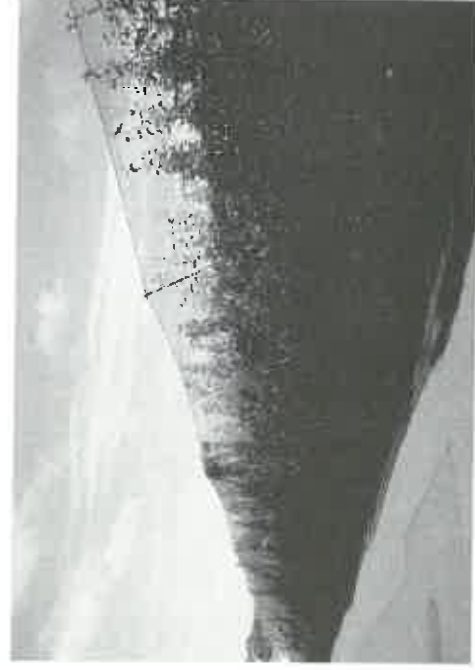
畑は住宅地の中にあるので、土曜日や日曜日には機械の使用を控えます。作業の音が騒音となるので、近隣にすむ人々の生活のことも考えた作業計画を立てます。

多くの苦労がありますが、それだけに、種から育てた苗が育っていくのはとても楽しみです。うちの野菜を買って食べた人から「新鮮さが違う。」「あまみがあっておいしい。」「などと感想をいわれると、さらにながらばって、安全でおいしい野菜を作ろうという気持ちになります。



整然と並んだ梨の木。益
状に整えられた枝。ま
さに梨のトンネルの中
にいるようです。

害虫や鳥から梨を防ぐ
ためのネット。梨畑の周
囲だけでなく天井にも
はりめぐらされています。



吉村さんの話

梨は直売と予約による宅配だけで、市場に出すことはありません。木で十分じゅくして、おいしくなったところで消費者に食べてもらうためです。

苦労としては秋の台風、天候不順による雨などです。また、天候のよい年は甘みのあるよい梨ができます。それが自然の厳しさともぐみで、自然を相手の仕事なので人の力だけではどうにもならない部分があります。

それでも、梨は手をかけたらそれとおりに応えてくれるので、努力が実る喜びは大きいです。そこで、私がこだわっているのは土作りです。収穫が終わると牛ふんを入れ、春までに土作りをします。よい土は、梨の木に元気を与え、よい実をつけるものになります。梨の甘みは日光と土で決まるといえます。ですから、土づくりに力を入れるのです。

梨を買った方から「ほかの梨とは甘みが違う。」「おいしい。」といわれると本当によろしいです。あざみ野第一小学校の給食に、うちの梨が出ることでありますので、そのときにはぜひ味わって食べてください。

7. 寺と神社

ぜひ、秋のお祭りには行ってみてください。保木の太太鼓や、船頭のお囃子、昔の各集落からのおみこしなど、びっくりするほどの大行列が鷲神社にくりこみます。

① 文化の中心 鷲神社

鷲神社は、今からおおよそ1,200年前、奈良時代に建てられたといわれています。平安の昔、この付近は朝廷に馬を献上していた「石川の牧」のあったところでした。村の人は馬を愛し敬っていたので、「敬」・「馬」の二字が一体となって「鷲」(おどろき)神社となりました。

鷲神社が文化の中心といわれるのは、毎年秋のお祭(現在は10月10日)に、荇子田・船頭・平川・宮本・保木・牛込といった地区から、獅子舞や太太鼓・みこしなどが鷲神社へくりこむからです。

秋にお祭が行われるのは、昔はこの日を境に農閑期に入るという前祝いでもあったためです。どこの農家でも朝早くから赤飯・煮物・てんぷら・煮魚などの料理を作り、祝ったそうです。



鷲神社・鳥居



鷲神社・本殿

② 神明社

この神社で有名なのは、なんといっても横浜市指定無形民俗文化財である「牛込の獅子舞」です。「牛込」とは、昔、早瀬川が氾濫したときに、「船頭では船を出して荷物を運んだが、この集落では多くの牛が荷物を運んだ」ということから名前がついたと言われています。

この獅子舞は、毎年10月9日は神明社で、その翌日10日は鷲神社で奉納されます。約300年前ぐらいから、悪い病気を追い払うことや、お米などがたぐとたくさんとれること、村が発展することなどを願っておどろり続けられました。10日は保木・牛込・平川・荇子田・船頭・宮元の各谷戸宮から繰り出す太太鼓・みこし・はやしが旧石川村社の鷲神社まで練り歩き、最後にこの獅子舞が神前で奉納されます。

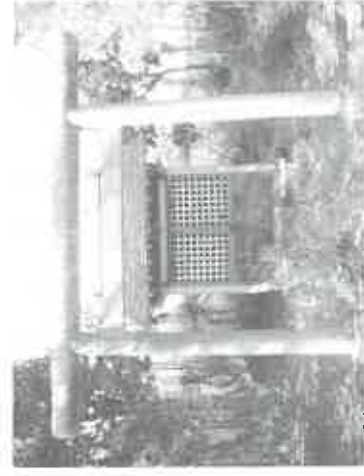
獅子舞にもいろいろな形がありますが、ここでは一人立ち三頭獅子舞といって、3人の牛込で生まれた小・中学生の男子が、それぞれ縮太鼓を胸につけ、バチを打ちながら舞います。それらの三頭は、剣角(雄獅子)・巻角(雄獅子)・雌獅子と呼ばれ、笛やほら貝、唄などに合わせながら舞う様子は、衣装と共にとても華やかです。

また、この地区は、昔から神様を信じる気持ちは強かったようで、この谷戸宮の神明社の他にも満願寺、御吾妻神社、天学協会、松本教会などがあります。御吾妻神社は「子供神社」とも呼ばれ、毎年4

月17日にお祭りがあります。昔、体の弱い子がお祈りをしたら丈夫になったということから子供の神様となりました。



牛込の神明社



満願寺裏の御吾妻神社

③ 平川神社

平川は、今の美しが丘4・5丁目あたりで、昔は、早瀬川の左右に水田が開け、戸数60戸あまりの静かな田園地帯だったということです。

神社の起源ははっきりしないのですが、その昔この地に野猿が多くいて田畑をあらしていました。こまった村人は、猿をつかまえました。当時、猿は神の使者とされていたので、猿のたたりや、神の罰をおそれて、この社をつくったという伝説があります。

表御嶽神社の境内には、昭和天皇在位60年記念植樹もあります。

④ 船頭の御嶽神社（表、裏）

昔の船頭地区の人たちは、集落の守り神として、神社を大切にしていました。集落のまともりは、神社を中心に守っていたので、集落に争いが起こると、神社も分かれなければなりません。

元石川の船頭には、20戸ほどの家があり、平和なくらしが続けていましたが、何らかの原因で対立し、そのため表と裏の神社に分かれてしまい、表と裏の御嶽神社が、両方残ることになりました。



平川神社



御嶽神社（表）



御嶽神社（裏）

⑤ 満願寺

真言宗のお寺で、川崎市の柿生にある「王禪寺」の末寺です。約40年前にはすでにあっただと思われ、昔から「かなり格式の高い寺だ」と言い伝えられてきています。その理由の一つとして、江戸時代の徳川2代将軍、秀忠の位牌があります。これは、満願寺が徳川家の菩提寺である、東京都芝の増上寺

の藁鬼門（西方向）にあたり、守護（守り神）の役割を与えられていたからだそうです。

最近、新しく立派な山門が建て替えられました。今でもある「金剛山」という文字は江戸時代の書の大家、松下烏石によって書かれたものです。



満願寺（山門）



「金剛山」の字



徳川秀忠の位牌

コラム

江戸時代の初め、石川村は徳川幕府の直轄地でした。その中でも石川村は徳川秀忠の正室、お江（崇源院）の方の化粧料（生活費用）をまか纳っていました。お江といえば、織田信長の妹であったお市の方と戦国大名浅井長政の娘です。お姉さんの茶々は豊臣秀吉の側室になります。また、3代将軍家光の実のお母さんでもあります。

その後、石川村は徳川家の菩提寺・増上寺領となり、その中でも王禅寺村とともに御霊屋領（みたまやう）となりました。御霊屋領とは、徳川秀忠とお江の方の菩提をともらうために、毎月の月命日の日に、石川村の人々で法事を行っていたということです。そのために、今でも満願寺には秀忠の位牌があるのです。お墓は東京都芝の増上寺にあります。

また、御霊屋領ということで石川村の人々は、年貢の他の仕事（助郷など）を免除されていたようです。

その後、明治時代にはお寺の中に「学校」がおかれ、子供達は「読み書き」を教わりました。春は桜、秋は紅葉が見事です。裏庭の竹やぶにはタケノコがニヨキニヨキ。

⑥ 西勝寺

新石川の樹木におおわれたところに、ひっそりとたたずんでいます。明治43年には、小学校高等科がおかれて、授業が行われました。かわいなおじぞうさんがいます。

驚神社の秋のお祭りのときに、各集落のおみこしなどが練り歩く石川村の旧道です。



西勝寺西側交差点

西勝寺・本殿

⑦ 保木の薬師如来像

保木の薬師堂の本尊には高さ82.5センチメートルの、ほぼ人と同じ大きさの薬師如来像が鎮座(ちんざ)しています。この仏像は、ヒノキの寄せ木造りでウルシ塗り仕上げ、昭和58年に神奈川県的重要文化財に指定され、県立博物館に保管されています。毎年、9月12日だけは保木の薬師堂に帰り、真言宗のお祈りである護摩がたかれます。

この薬師様は、とくに眼の病氣にご利益があると、昔から深い信仰がよせられていたそうです。近くにはひのみやぐらがあります。



薬師如来像



保木の薬師堂

⑧ 荻子田家型横穴古墳

荻子田朝日公園の中に古墳があります。横浜市の指定文化財です。7世紀前半ごろのこの地域の有力者の墓と考えられています。この古墳は、死者を安置した玄室が家型に横にほられています。このように家型の形をした古墳は少なく、近くでは町田市の玉山谷横穴群があります。古代人は、死後もなお現世の延長として墓室が生活の場として考えていたようで、このように家の形にしたのではないかと考えられています。



荻子田朝日公園



荻子田家型横穴古墳

⑨ 馬頭観音

近世の農業において、馬・牛は貴重な労働源でした。畑や水田で働いて、人間のために死んでいった牛や馬の霊をなぐさめるために、石に「馬頭観音」と刻んで、道ばたやお寺に建てたそうです。

⑩ 平川の大灯籠

早瀬川近くの駐車場の一角に立っています。対象13年(1924)頃に発行された「山内村名所絵はがき」には、「山内名所薩摩燈籠(明治維新記念)」として紹介されている所から、昔からこの地域の名所の一つだったことがわかります。なぜ「薩摩燈籠」とよばれているかというと、幕末にこの地域から江戸・薩摩屋敷へ奉公にあがっていた女性が、明治になって村に帰る際にもらい受けてきたため、ということです。



馬頭観音



平川の大灯籠

⑪ 庚申塔

曆(こよみ)の庚(かのえ)と申(さる)の両方が合さる夜を眠らずに、健康で長生きなどを願う信仰が盛んになった時代に建てられた石造物です。

石川村の石造物の中でも最も多く建てられ、19基あります



庚申塔①



庚申塔②

3. 学校の歴史

(1) むかしの学校

①学校の始まり

江戸時代、元石川地域にまだ学校がなかった頃、村の子どもたちは、おそらく「寺子屋」といわれた塾のような所に通っていたと思われま

れます。

お寺の中で、先生一人に、三、四十人の子どもが集まって「読み、書き、そろばん」などを習っていたと考えられています。

寺子屋のようす



明治時代に入り、6年に荏田学舎が開かれ、7年に荏田学校となつて、真福寺を御使しました。明治10年には、満願寺に石川学校が開校されたことが記録に残っています。これがこの地域の最初の学校でした。

②戦争前の学校

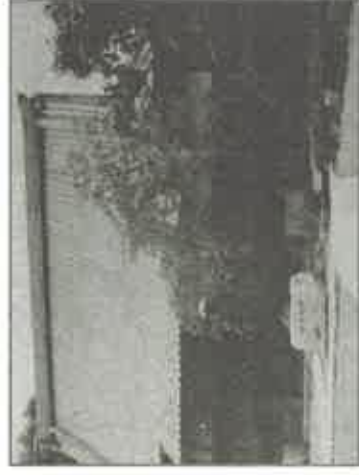
尋常科4年間、高等科も4年間でしたが、義務教育は尋常科まででしたので、高等科まで進む子は多くありませんでした。とくに女子は、たいへん少なかったようです。

また、そのころは学校へ行っていない子もいたので、役所が、なるべく子どもを学校へあげなさいと言っていました。

戦前の小学校（国民学校）では、ふつう、男子と女子は別々の教室でした。今のような男女共学ではなかったわけですから、それは、男と女の生き方が異なり、その役割が違うという考えに基づいたものでした。男子が工作の時間に模型飛行機を作り、女子がさいほうをするというふうな授業の内容もいくらか違っていました。



男子だけの授業風景



今の満願寺



女子だけの授業風景

③戦争中の学校

戦争で空しゅうが始まると、アメリカの飛行機が1万mの上空を通りました。さいわい空しゅうで焼けた家はありませんでした。

空しゅうが来そうになると、サイレンがなります。すると、防災頭巾をかぶって急げ下校となって、勉強ができませんでした。(昔の山内小の人の話)

戦争がはげしくなると、食料不足もだんだんと深刻になりました。働き手のお父さんやお兄さんが戦争に行ってしまう、どの農家でも人手が足りずに困っていました。生徒は先生に連れられて、そういう農家の手伝いばかり出されました。

※こえおけをかついたり、刈り入れを手伝ったり、大人と同じように働かされました。食べ物を増やすために、新しく田んぼを作ったり、グラウンドを畑にしてサツマイモを作る学校もありました。

(※こえおけ=うんこやおしっこを入れて畑にまいて肥料にする。)



食べ物を増やすために畑を耕す女の生徒



防空えん習を行うところ

④戦争後の学校

昭和22年(1947)年度から、国民学校は小学校とよぶことになりました。



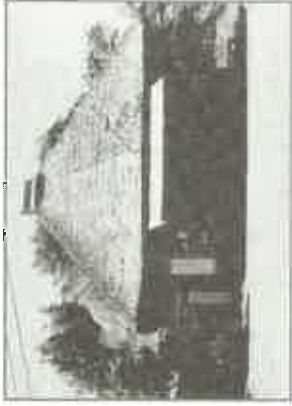

義務教育も小学校六年、中学校三年の「六・三制」になったうえ、男女共学になりました。ノートもえんぴつも、着る服もじゅうぶんではなかったのも、何でも大切に使いました。

また、このころからアルミのコップに脱脂粉乳のミルクとコッパン1この給食が始まりました。牛乳からクリームをとり、のぞいた脱脂粉乳は、あまり味のいいものではありませんでした。



新しい教科書をうけとる子どもたち

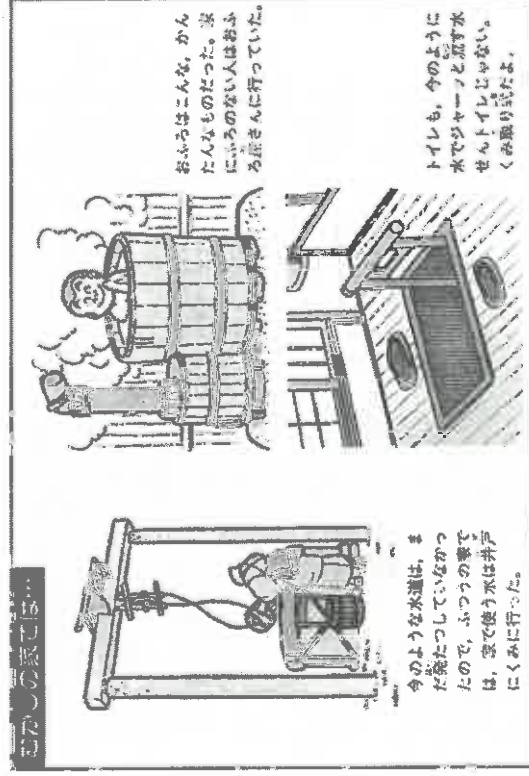
(2) あざみ野第一小学校のあゆみ(年表)

西暦	元号	学校の移り変わり
1874年	明治7年	・荏田学舎ができた 観福寺
1875年	明治8年	・荏田学校と名前がかわる 真福寺
1877年	明治10年	・石川学校ができた 石川村の中央満願寺台
		 <p>荏田の真福寺(旧観音堂)</p>
		 <p>満願寺山門</p>
1880年	明治13年	・石川学校が台風でこわれた 薬師堂で勉強した
		 <p>かつての保木薬師堂</p>
1887年	明治20年	・石川学校 陳願堂にうつった 昭和4年まで授業 をしていた
		 <p>陳願堂入り口の金作地藏</p>

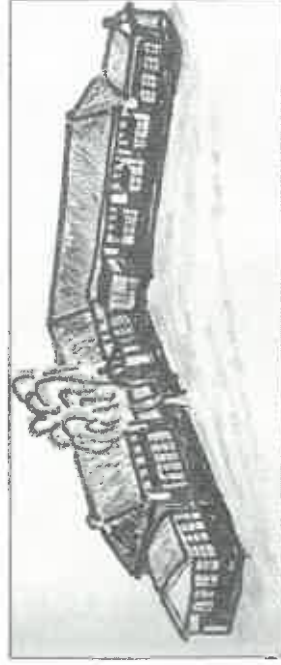
- 1900年 明治33年 尋常石川小学校と尋常桂田小学校になった
- 1902年 明治35年 尋常石川小学校は、尋常第一小学校になった
- 尋常桂田小学校は、尋常第二山内小学校になった
- 尋常第一山内小学校は、尋常高等第一山内小学校となった
- 1903年 明治36年 西勝寺に高等科を置く

尋常科 230人

高等科 2学級



- 1923年 大正12年 尋常第二山内小学校は、関東大震災で大きな損害をうけた



思い出の尋常高等第一山内小学校 徳江善衛氏 画



思い出の尋常第二山内小学校 徳江善衛氏 画

- 1937年 昭和12年 新しく校舎を建てた
- 山内尋常高等小学校（本校）となった
- 2階建て
- 14教室
- 元の2つの小学校は、第一分教場、第二分教場とした
- 1年～3年までは分教場で、4年以上は本校で勉強

1939年 昭和14年

- ・横浜市山内尋常高等小学校と名前がかわった
- ・横浜市山内国民学校と名前がかわった

学級数 13

1940年 昭和16年

児童数 695人

1947年 昭和22年

- ・横浜市立山内小学校と名前がかわった



オリンピックと同じ年に、東海道新幹線が開通。東京から朝又駅までやく4時間で片側できるようになりました。



1960年にはカラー放送が始まり、このころから一躍に1台、テレビがおかれるようになりました。



国道246号線の工事（昭和37年）

このころの社会情勢



テレビ放送が始まる

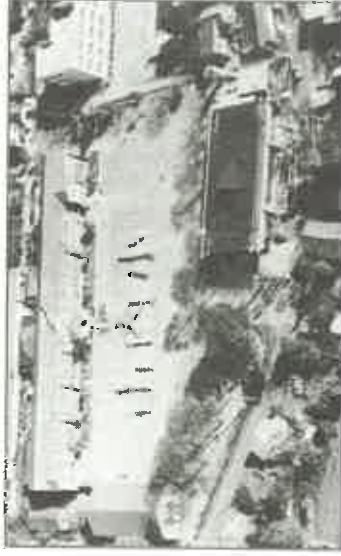
さいしよはぬだんが、又う人が少なかつたので、街頭や飲食店におかれたテレビに人々が集まりました。



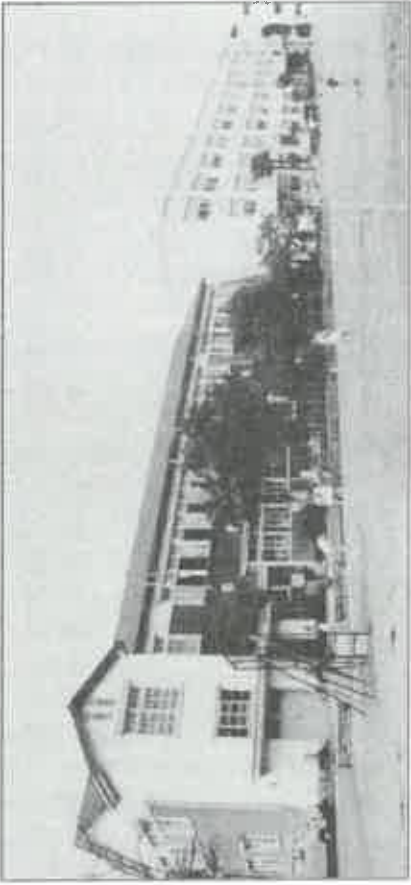
国道246号線（長津田町）

1967年 昭和42年

- ・校舎を増やした
- 鉄筋校舎 3階建て 6教室 特別教室2



このころの山内小学校

1969年	昭和44年	・山内小学校から美しが丘小学校が分かれた
1973年	昭和48年	・山内小学校から荏田小学校が分かれた
1974年	昭和49年	・山内小学校からすすき野小学校が分かれた
1976年	昭和51年	・山内小学校から元石川小学校が分かれた
		
<h3>まだ木造校しやが半分残っていた山内小学校</h3>		
1980年	昭和55年	・山内小学校からあざみ野第一小学校が独立・開校 児童数 641人 (学区) あざみ野一、二、三、四丁目 元石川 (荏子田・船頭地区) 大場町の一部 (700番台)
1981年	昭和56年	・校章ができた
1982年	昭和57年	・あざみ野第一小学校からあざみ野第二小学校が分かれた あざみ野三丁目と大場町は第二小の学区になった
1983年	昭和58年	・ワイワイランドができた
1985年	昭和60年	・校歌ができた
1985年	昭和60年	・荏子田小学校ができた
1990年	平成2年	・大場町の学区がふえた
1992年	平成4年	・あざみ野三丁目の一部が学区になった
1994年	平成6年	・ワイワイランドに遊び道具ができた
1998年	平成10年	・ワイワイランドの歌ができた
2003年	平成14年	・ランチルームができた
2004年	平成15年	・学級増のため、ランチルームがなくなった
2005年	平成17年	・学級増のため、あざみ野ギャラリー・教具室がなくなった 教具室は、3階のワークスペースに移った ・学級増のため、図工室がなくなった 図工準備室は、4階のワークスペースに移った

(3) あざみ野第一小学校 (資料)

①開校まで

あざみ野は、もともと元石川町字船陰(ふななかげ)、矢指(やさし)という地名でした。このあたり一帯(いったい)は小さな谷戸(やと)で、田畑がちらばり、ぞう木林もあり、春にはひばりがさえずり、夏にはホタルがまうという、本当にしずかな山村でした。今、学校のある場所は、一面の雑草におおわれていたそうです。

しかし、昭和41年の田園都市の開通によりこの静かな土地にも家がたちはじめ、それにともなつて山内小学校の児童数(じどうすう)もだんだんふえてきました。

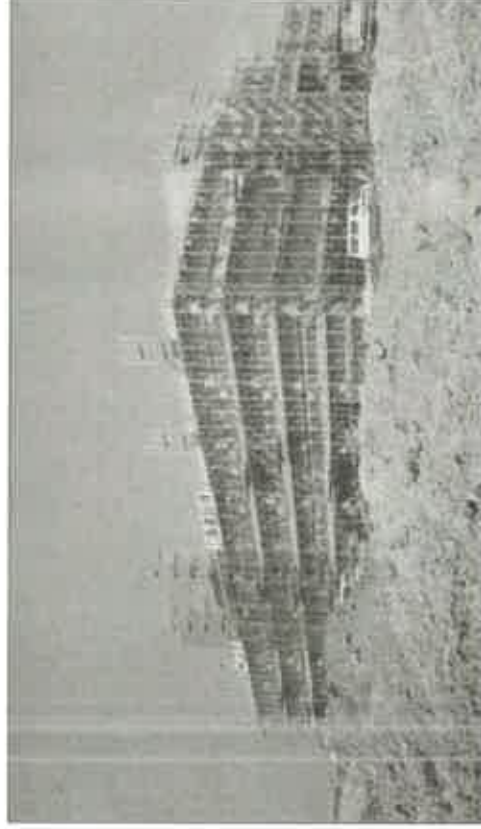
そのため、美しが丘小学校、荏子田小学校、すすき野小学校、元石川小学校が新しくたてられました。

そして、昭和54年7月9日、あざみ野方面に新しく学校をつくることが決まり、8月23日から工事がはじまりました。

それから6ヶ月半後の昭和55年3月7日、横浜市議会で、「横浜市立あざみ野第一小学校」の名が決まったのです。



けんちく中のあざみ野第一小学校です。
まわりの様子から、まだ家もあまりたっていないことがわかります。



②開校宣言

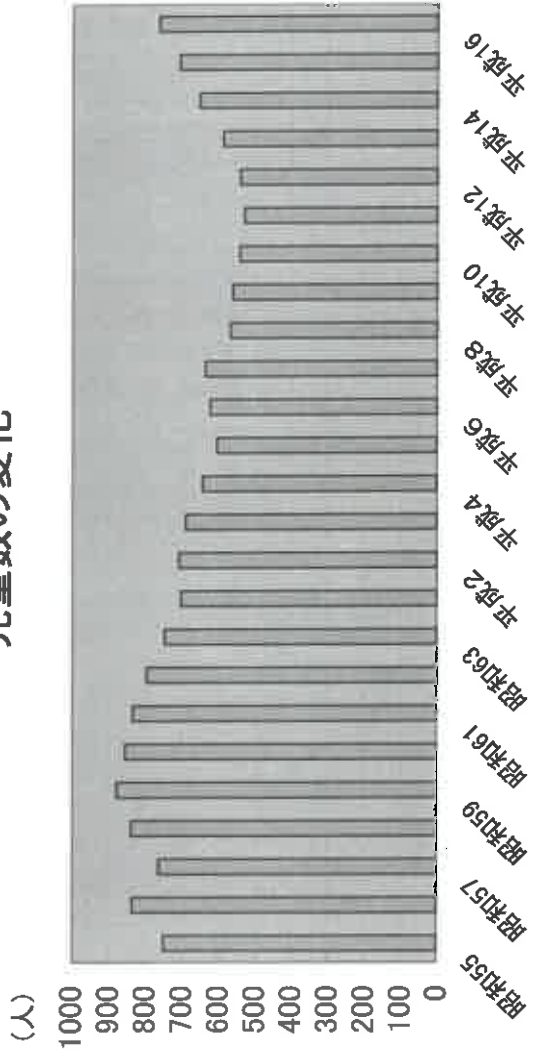


開校3年目のあざみ野第一小学校

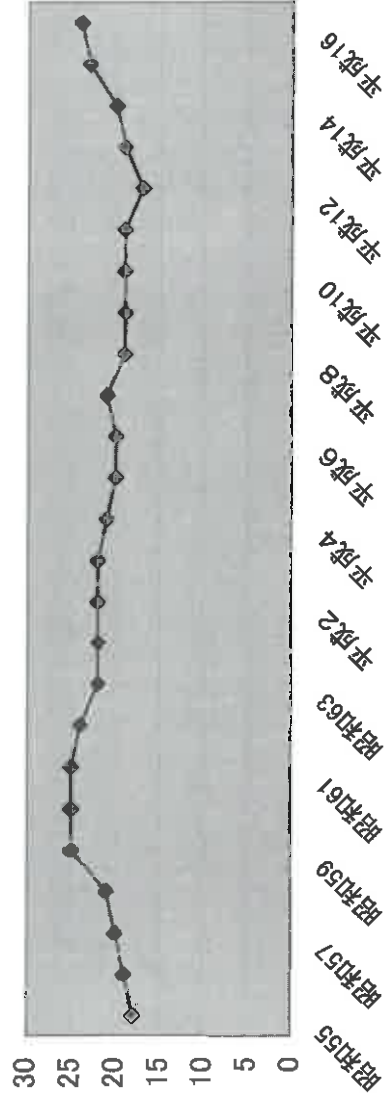


あざみ野第一小学校の児童数・学級数・教職員数

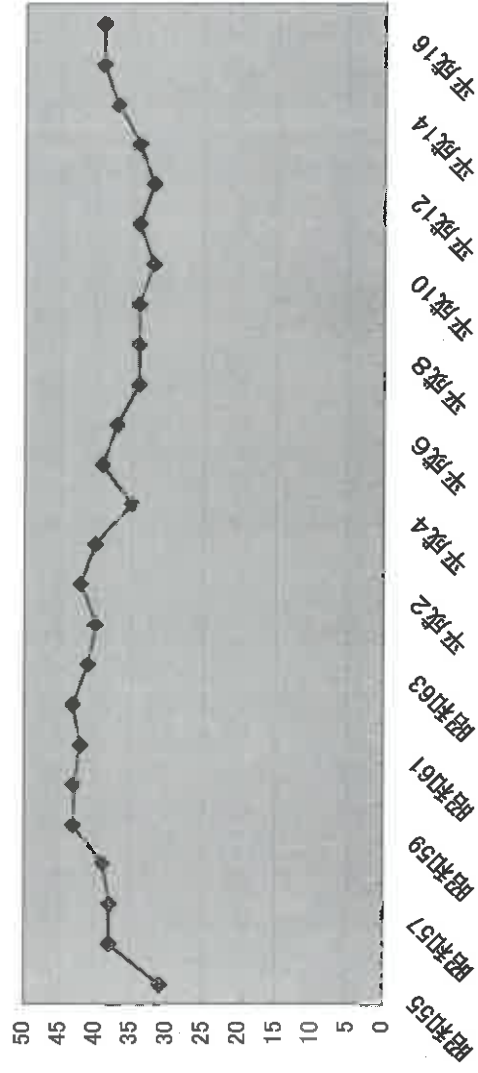
児童数の変化



学級数の変化



教職員の変化



(4) 航空写真



昭和22年のあさみ野周辺



平成6年のあざみ野周辺



平成16年のあざみ野周辺

4. あざみ野の歴史

(1) あざみ野の昔をたどろう

明治のころ

1889年(明治22年)、石川村と荏田村が合わさって、山内村が誕生しました。しかし、横浜市の中心ではありませんでした。「神奈川県都筑郡山内村」というのが、みなさんのすんでいるあざみ野の地区の元の名前です。

昭和のころ

1939年(昭和14年)に、横浜市に入れられ、「横浜市港北区元石川町ならびに荏田町」となりました。

明治・大正・昭和の山内村の人々の生活は、あまり大きく変わりませんでした。

田園都市線の開通

しかし、1969年(昭和44年) 田園都市線の開通で、大きな住宅地として開発されていく事になったのです。

あざみ野

たまプラーザのある美しが丘から進められてきた開発は、どんどん広がっていき、1996年(昭和51年)には、元石川町から「あざみ野」が誕生しました。

緑区

その時期、横浜市の人口も大きくなってきたので、港北区から分かれて新しい区をつくることになりました。こうして新しい区「緑区」が誕生しました。

平成のころ

港北区から分かれた時の緑区の人口は、約12万人でしたが、平成6年では、約45万人と大きくふえてきました。中でも、みなさんが住んでいる「あざみ野」をはじめ、田園都市線ぞいの地区は人口急増地区になってきました。

青葉区と都筑区

そこで、1994年(平成6年11月)に緑区となりの港北区から、新しい「青葉区」と「都筑区」が誕生しました。みなさんの住んでいるあざみ野は、緑区から青葉区へとなりました。



昔の市営バス



あざみ野一丁目の丘から
(昭和38年)

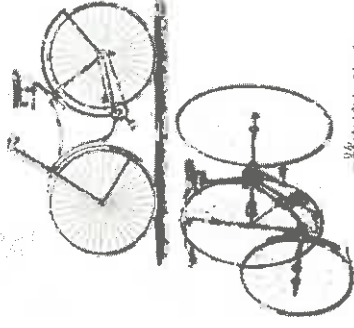


(2) あざみ野の地区のうつりかわり (年表)

西暦	元号	できごと
1868年	明治元年	神奈川府となる
1871	明 4	神奈川県となる 荏田村 176 けん 988 人 石川村 274 けん 1,383 人
1874	明 7	天びんやしよいこを使って仕事をした
1877	明 10	川和に郵便役所ができた ・大八車も使われ始めた
1882	明 15	川和に警察署ができた。 ・あんどんに変わり石油ランプが使われ始めた ・ランプをうじは、子どもの仕事
1887	明 20	製紙工場ができた ・多いときで 150 人の女の女の人が働いた
1889	明 22	山内村ができた 荏田村と石川村と黒須田村の一部を合わせた村 ・自転車が使われ始めた 山内村では、2 台だけ (お医者さんと工場の人)
1892	明 25	山内村の人口 418 けん 2,860 人
1990	明 33	荏田の町が大火事でほとんどの家が焼けた 横浜線ができた (東神奈川～八王子) 一日 6 往復だけ
1917	大正 6	荏田～溝の口 乗り合い場車が走った はねつるべの井戸がポンプ井戸に変わってきた
1921	大 10	荏田～溝の口 6 人乗りのバスが通る 1 日 4 回だけ このころ、養蚕がさかんであった
1923	大 12	関東大震災が起きた 山内地区では、倒れた家 3 けん柱のかたむいた家が多かった 畑に地われが見られた 一部の家に電気がひかれた 20 ワットの電球
1924	大 13	多摩川に二子橋完成 渡し船は、なくなった



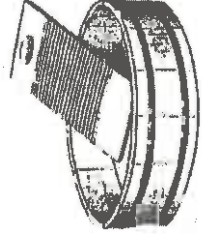
だいはち車 (にもつをのせて運ぶ)



二輪車だけでなく、
三輪車もありました。



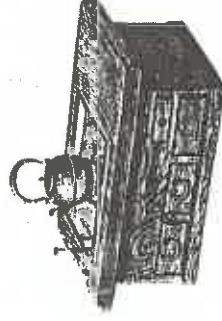
いろいろ



たらいとせんたく板



手おけ



火ばち

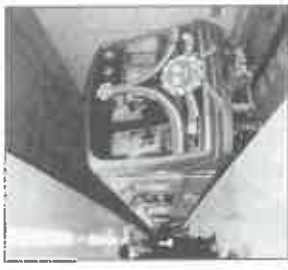
1927	昭和 2	山内村に、初めてのラジオバスが荏田～中山中山～柿生を走った
1939	昭 14	山内村は横浜市に入った これより、都筑郡の名は消え、横浜市港北区となる
1940	昭 15	昭和 16年 12月戦争が始まる さとう、マツチ、みそ、米、しょうゆ、お菓子などは、みんな決まった分しか買えなくなった
1945	昭 20	横浜は大空襲でたくさんさんの町が焼けてしまった 子ども国には、田奈弾薬庫という爆弾を集めておく場所があったが、幸い、空襲にはあわなかった。 8月、戦争が終わった
1948	昭 23	荏田～綱島の間を、またバスが走るようになった
1953	昭 28	テレビ放送が始まる
1963	昭 38	東急電鉄が中心となって、美しが丘地区に家を建てるための開発を始めた
1964	昭 39	国道 246 号線ができた 東海道新幹線ができた 新横浜駅ができた 子どもの国ができた
1968	昭 43	東名高速自動車道路ができた 田園都市線が通る 溝の口～長津田 緑区がたん生した
1969	昭 44	元石川町から、あざみ野一丁目～四丁目ができた
1976	昭 51	あざみ野駅ができた
1977	昭 52	あざみ野三丁目は、第二小学校の学区となった
1982	昭 57	元石川の一部が荏子田となってわかれた 横浜市営地下鉄あざみ野駅ができた
1985	昭 60	青葉区がたん生した
1992	平成 4	青葉区たん生 平成 6年 11月 6日
1994	平 6	青葉区がたん生した



1940年5月の横浜大空襲しゅう



オリンピックと同じ年に、東海道新幹線が開通。東京から新大阪までやく4時間で走行できるようになりました。



「青葉区」の区名は—
 ・木々にかこまれたうつくしい街のイメージ。
 ・わかい芽がいきいきと育つように、しょう来に向けてのびやかに発展する区でありたいとの願いをこめてつけられました。



(3) あざみ野 今とむかし

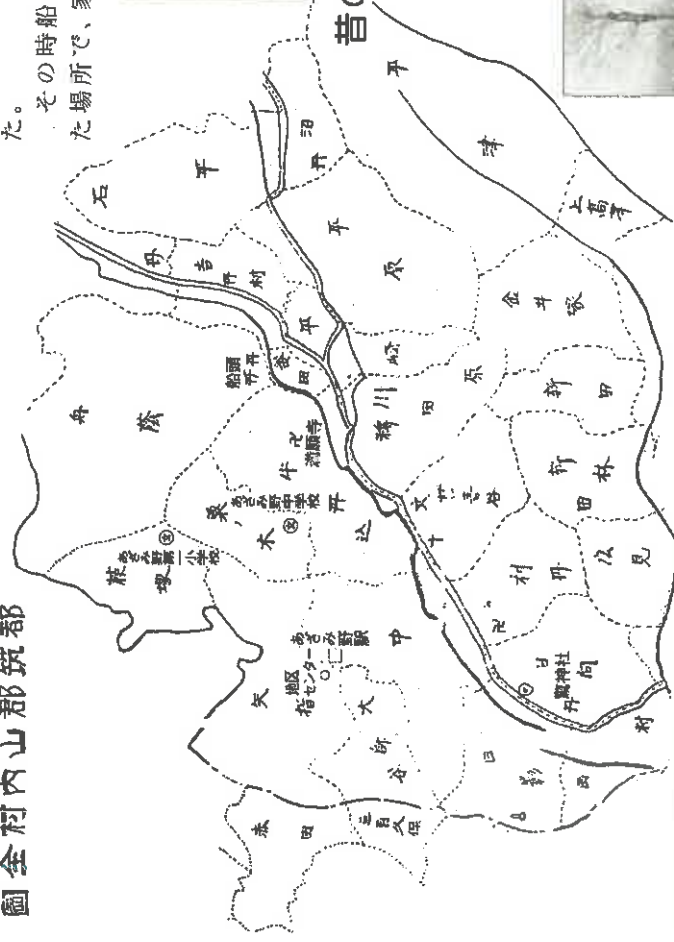
「船頭」の名前の由来

石川村と荏田村とで早瀬川の水あらしがあり、荏田村の人たちが川をせきとめ、石川村が水びたしになりました。

その時船をつくって出した家があった場所、家の屋号にもなっています。

①むかしの山内地区

図 全村内山郡筑都



昔のおもかげの残る船頭



下和田と呼ばれた金子富雄さんの家
げんざいタイオ-第2売り場
(昭和39年ごろ)



工事前のあざみ野駅付近



あざみ野駅西側あたり (昭和49年)



あざみ野駅オープンの1番下り列車 (昭和52年5月25日)

②今のあざみ野の町のようす

- (i) 田園都市線・市営地下鉄が通り、あざみ野駅がある。バス・自動車がたくさん走っている。
- (ii) 学校は、あざみ野第一小・あざみ野第二小・あざみ野中・元石川高校・カリタス女子短大がある。
- (iii) 山内図書館・山内地区センターがある。
- (iv) あざみ野郵便局・多くの銀行・信用金庫がある。
あざみ野商店街には、多くの店やスーパーなどがある。
多くの住宅や団地・マンションがある。
- (v) 公園やグラウンドがあり、道には街路樹が植えられている。
田や畑が少なくなってきた。

③昔のあざみ野の町のようす 〈吉村勝太郎さんの話〉

- (i) 電車が通り、駅ができるまで
 - ・今から25年前まではバスで東京や横浜に出て行った。
 - ・その前は自転車で学校や会社に通った。
 - ・遠足は歩いて行くのがふつうであった。
 - ・戦争が終わって町の人達と東急とが話し合って町づくりと電車をひくことになった。
 - ・あざみ野駅ははじめのころはなかった。
 - ・やがて地下鉄も来るようになった。
- (ii) 学校ができるまで
 - ・むかしは山内第一小学校といって美しが丘五丁目の丘の中ほどにあった。
 - ・昭和12年に今の山内小学校へうつった。その頃学校は1校。
 - ・昭和22年に山内中学校ができた。
 - ・その後町におおぜいの人が住むようになり、美しが丘小(44年) 荏田小(48年)・すすき野小(49年) 元石川小(51年) あざみ野第一小(55年) と作られていった。
 - ・あざみ野第一小からあざみ野第二小ができた。
 - ・今では小学校が13校、中学校4校、合計17校になっている。
- (iii) 山内図書館・山内地区センター
 - ・昭和14年に横浜市といっしょになった。それまでは都筑郡山内村石川とっていた。役場が山内小学校前にあった。横浜市になって港北区元石川町となった。区役所が菊名にあり遠くてたいへんだった。
 - ・戦争が終わって町の人が山内小のうらに山内出張所のたてものを作って仕事をした。

- ・近くてべんりになった。
- ・区画整理のときに土地を用意して出張所をうつして山内支所となった。
- ・そのとき、町の人たちの希望で図書館・地区センターができた。
- ・山内支所はその後、市ヶ尾にうつり北部支所となった。

(iv) 昔の家の数とその仕事

- ・中村、牛込、船頭といった部落があり、約30けんぐらいいしかなかった。
- ・今にぎやかな二丁目、三丁目には家はほとんどなかった。
- ・その頃の家の仕事は農業であった。ひまなときは蚕を飼ったり、まき、炭を作ったりしていた。

(v) 米づくりの仕事

- なわしろ……細長く土をならしてたねをまいた。
- なえとり……おもに女の人になえをぬいてたばにした。
- 田うない……人・牛・馬で田をたがやす。
- 田の草取り……夏の暑い日に手や機械を使って草を取る。
- 稲刈り・かげぼし……稲を刈って束ね、木や竹を作ったしぼにかけて、かわかす。
- 稲こき・ほしもの……稲をくさかからはなしてもみにして、むしろにひろげてかわかす。
- もみすり・検査……もみのかわをとり、俵につめて検査を受け、等級を決めた。

・麦・さつまいもづくりの仕事

昔あったあざみ野の行事

- ・さいのかみ ----- おふだやおだるまの古くなったものを燃やした。
- ・初うま ----- おいなりさまをまつた。
- ・道ぶしん ----- 村の道を自分たちの手でなおした。
- ・あまごい ----- 雨が降らないときに神様にお願いをした。

昔の子どものくらし

- ・家の手伝い ----- 畑仕事、炊事、おつかい、ふるもし
- ・子守り ----- きょうだいが多くて上の人がめんどうをみた。
- ・家ちくの世話 ----- にわとり、ぶたなど

吉村勝太郎さん：美しが丘にお住まいの
元横浜市小学校校長先生です。

④読み物資料〈おとなの人に読んでもらいましょう〉

〈関東大震災〉 笠原 久蔵（当時7歳）

その日は第二学期の始業式で、白がすり、袴に帽子をかぶって帰宅。家の前の池や川でドジョウを獲っていたら、ゴーツという地鳴りとともに地面が大きく揺れ、獲物を入れていたタライごと池の中に落ちた。わが家はかなり古かったが、倒壊はまぬがれ、少し傾いた程度ですんだ。近所の草屋根の家がほとんど潰れていた。

校舎も半分以上壊れ、近くの寺で授業が再開されたが、そんな状態が1年くらいも続いたと思う。市内の親類で家をなくした人たちがうちに身を寄せていた。

数日間は、夜になると、市街地にあたる東の空が真っ赤に焼けるのが見えた。とても恐ろしかった。

〈横浜大空襲〉 ^{まいば}饗場 ハナ（当時30歳）

20年4月15日深夜、空襲警報が鳴った。まもなくしてドスンという音がして、玄関先が燃え出した。夫は横須賀に出征していたし、早く火を消さなきゃとあせつたけど、姑に「命のほうが大それたから」と言われて、小学1年生と3歳の子供を抱えて、4人で前の田んぼに逃げた。防空頭巾と薄いふとんをかぶって、水びたしの田んぼに伏せて、B29が遠のくのを待った。子供は、「お口に水がはいると言っていて泣いた。

そのうち、町内会の方が2人助けに来てくれた。私は裏庭の池から水をくみ出し、3人でバケツリレーしてやっと火を消しとめた。モンペはぐっしより、いつのまにか池の中にはいっていた。夢中だった。家の燃え始めた時の恐怖といたたらなかつた。

〈人も建物も疎開、そして勤労働員〉

戦争が進展するにともない、市民生活が抱える困難と矛盾は一層進行する。昭和19年（1944）4月21日に、鶴見区内で最初の建物疎開が実施された。空襲のさいに類焼、延焼を防ぐために空地を作り出すことを目的とし、「疎開」をいう名のもとに建物を壊す措置である。住み家を破壊された人びとは、行くあてもなく途方に暮れるのみ。なすすべもなかった。

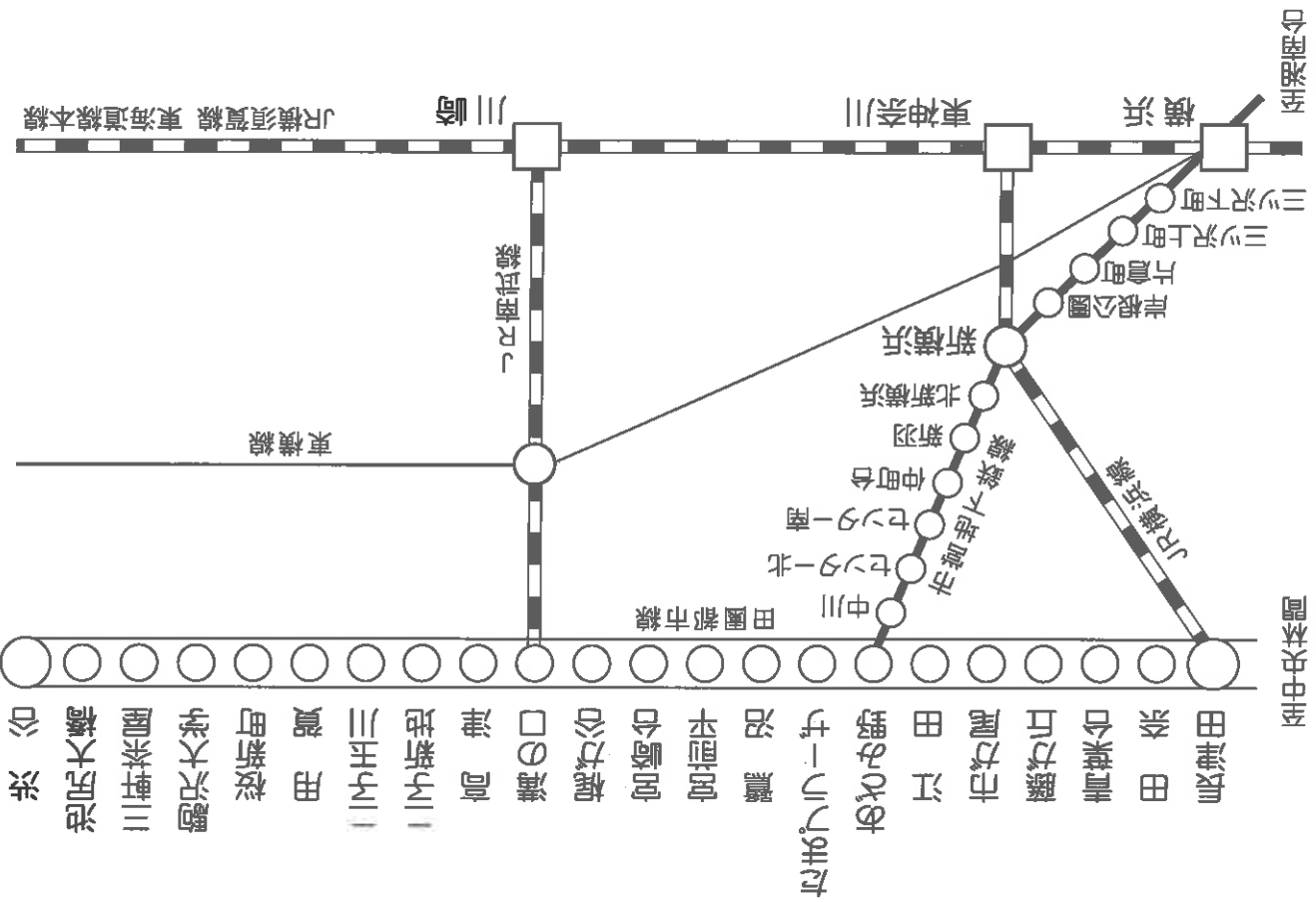
子供たちの疎開も行われた。防空・防火活動の際に子供たちが足まといになることをさげ、つぎの若い世代を「人的資源」として確保するためである。幼い心身には、過酷な体験であった。疎開したある児童の手紙によれば5時30分の起床から夜8時30分までのあいだ、スケジュールが細かく定められている。月に8回の入浴、自習ばかりの勉強はともかく長期に及ぶ集団生活と食料不足は、それぞれの心に大きな傷を残した。一方、中等学校以上の学生は、男女問わず勤労働員をかけられ、あちこちの工場で働かされていた。

⑤田園都市線・市営地下鉄線の開通

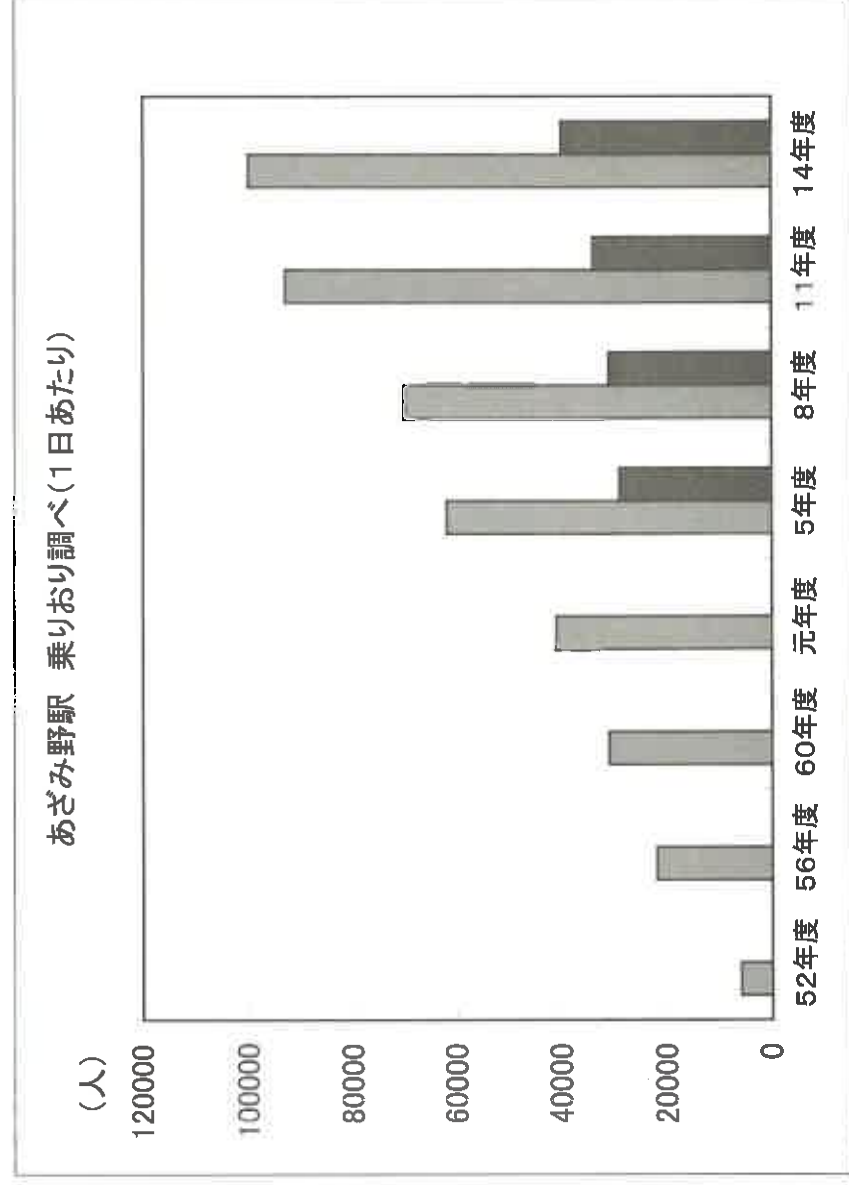
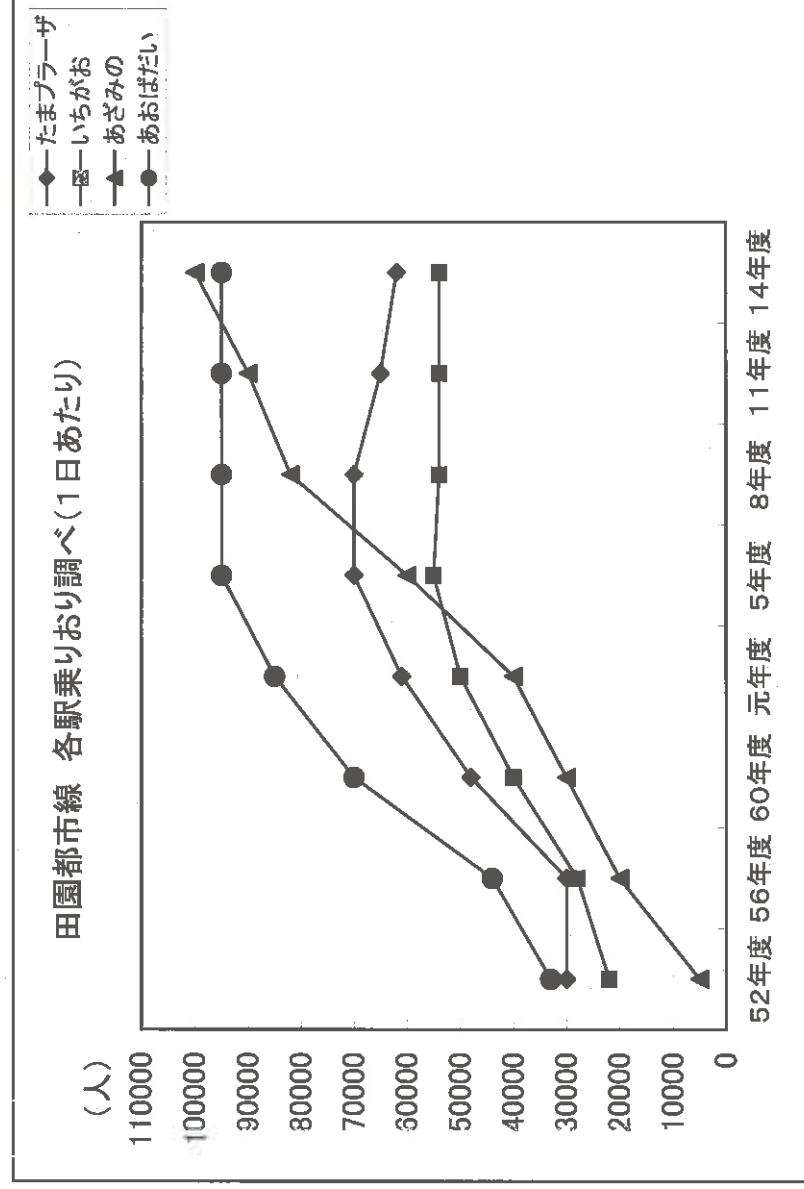
年月日	おもなできごと
昭和18年 7月	二子玉川～溝の口が開通する。
昭和28年 1月	「多摩川田園都市線」構想が発表される。
昭和41年 4月	溝の口～長津田が開通する。
昭和42年 4月	子どもの国線が開通する。
昭和43年 4月	長津田～つくし野間が開通する。
昭和47年 4月	つくし野～すすかかけ間が開通する。
昭和51年10月	すすかかけ台～つきみ野間が開通する。
昭和52年 4月	渋谷～二子玉川園間（新玉川線）が開通する。
昭和52年 5月	あざみ野駅が開業する。
昭和54年 8月	田園都市線・新玉川線・営団地下鉄半蔵門線の3つが、直通運転をすする。
昭和59年 4月	つきみ野～中央林間間が開通する。
昭和63年 4月	半蔵門～大手町が開業する。
平成元年	三越前が開業する。
平成2年	水天宮前（箱崎東京シティエターミナル前）が開業する。
平成15年 3月	水天宮前～押し上げが開通し、中央林間から南栗橋までの100Kmが直通となった。 （東部伊勢佐木線・日光線・営団地下鉄半蔵門線・東急田園都市線）
平成5年	横浜市営地下鉄線（あざみ野～上大岡）開業

あざみ野の駅が現在のようにな町に発展したのは、昭和41年に東急田園都市線が開通してからのことである。川崎・東京方面への通勤・通学が楽になったので、家がたくさん建つようになった。さらに、平成5年には、市営地下鉄のあざみ野駅が開業、田園都市線は、他の線と結び、直通運転がされるようになり、人口は、ますます増加しつつある。

あびみ野駅を中心とした鉄道路線図



⑥田園都市線の利用状況



あざみ野小学校の周り

学習に活用



できる地域素材

総合的な学習の時間に活用した まちの施設の例

施設名	学年	活動内容
①小桜愛児園 あざみ野1-32-6 901-0141	4	・半日保育体験 ・合唱、合奏、劇の発表
②あざみ野日ゆり幼稚園 大塚町596 973-4650	1 2	・一日交流
③愛和太陽幼稚園 桂子田3-21-7 901-2878	5	・絵本の読み聞かせ ・一緒に遊ぶ
④特別養護老人ホーム 「緑の郷」 鉄町2075-3 903-8500	6	・「こいのぼり祭り」参加 ・合唱、合奏の発表 ・一日交流(午前)職員の方のお手伝い(午後) 話相手
⑤デイサービス 「やまびこ」 大塚町231-57 978-1154	6	・デイサービスの仕事内容を知る ・一緒に遊んだり、食事(児童は弁当)をたたりして交流を深める
⑥長浜医院 「みちくさ」 901-2525	3	・お年寄りとの交流、インタビュー ・合奏の発表
⑦満願寺 あざみ野4-27-6 901-4070	4	・住職さんからあざみ野のまちの歴史のお話を聞く
⑧万寿の森 元石川町4323 905-1200	4	・交通安全教室参加 ・紙芝居、合唱、合奏の発表 ・話し相手になる ・一緒に遊ぶ交流

表船頭・裏船頭の2つがあります。昔の人たちの対立で2つに分かれましたが、今も地域の守り神として残っています。

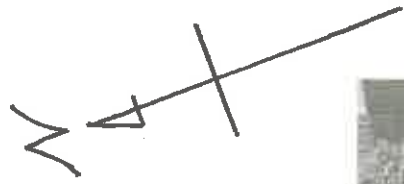
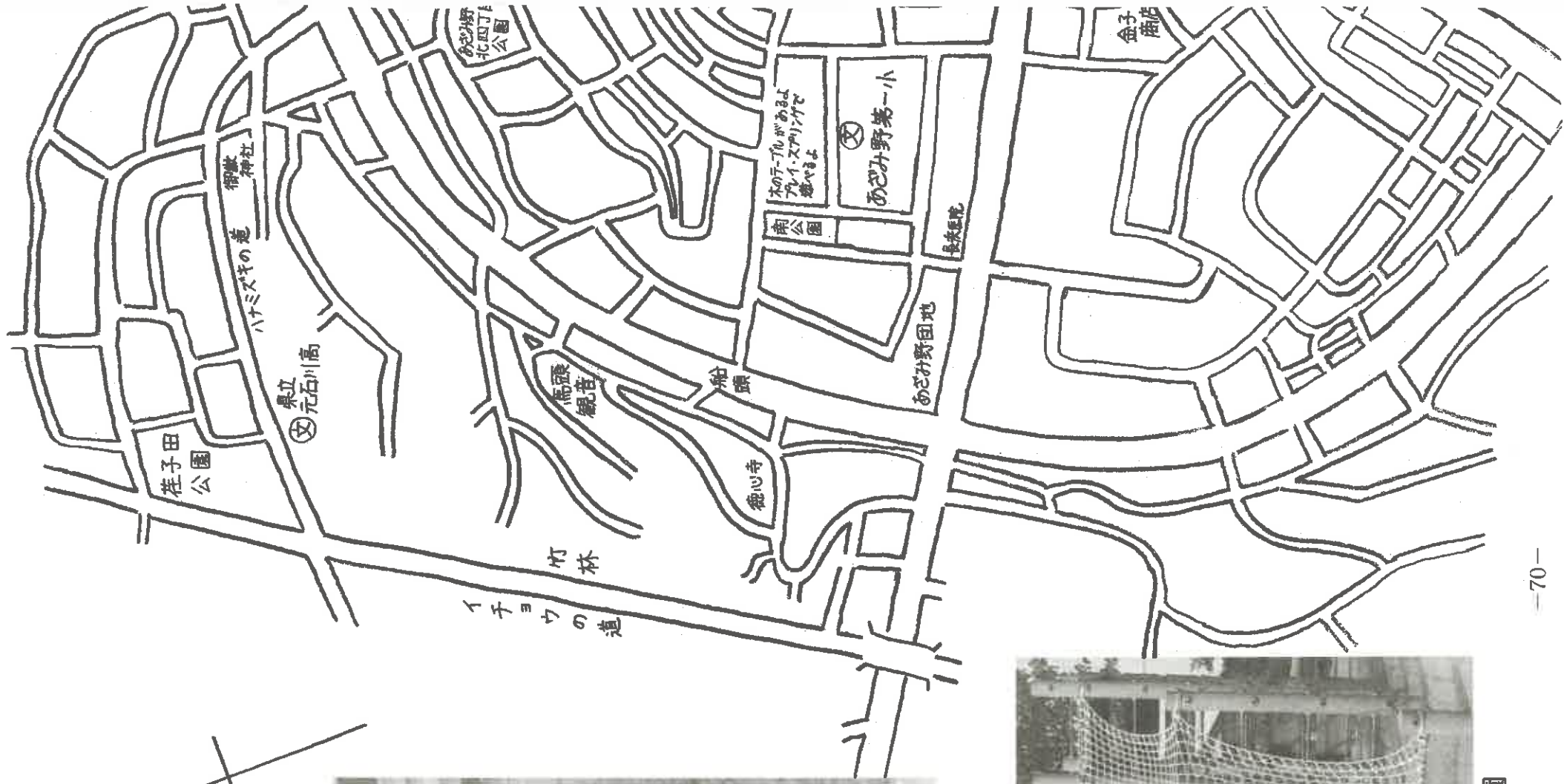
11月30日には200年もの伝統がある念仏祭が行われます。

横浜歴史博物館

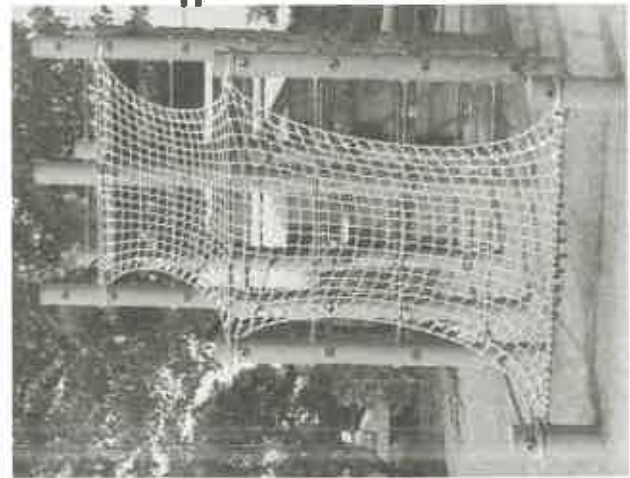
横浜2万年の歴史の映像や展示物、大塚・歳勝土遺跡を保存した歴史公園があります。

※ 市営地下鉄

センター北駅から徒歩5分



北四丁目公園



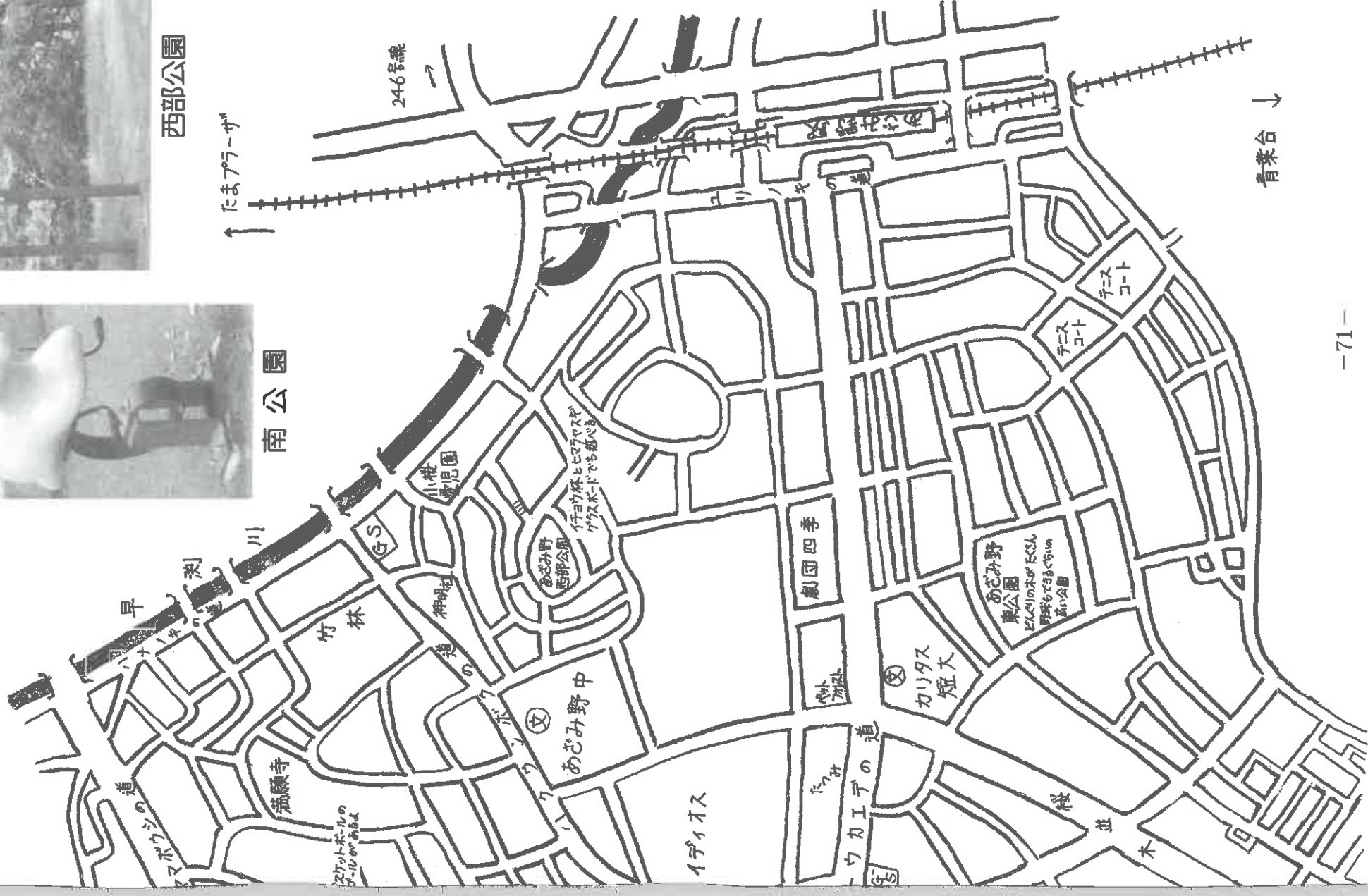
東公園



南公園



西部公園



参考文献・資料

- 変わりゆく古里写真集（根本藤吉）
歴史の舞台を歩く（相澤雅雄）
田園小史（緑区役所北部支所）
青葉区行政区概要（青葉区役所）
わたしたちの横浜（市教育委員会）
よこはまの歴史（市教育委員会）
図説・横浜の歴史（横浜市）
市民グラフィックヨコハマ（横浜市）
横浜もののはじめ考（横浜開港資料館）
F・P・アプト幕末日本写真集（横浜開港資料館）
資料が語る横浜の百年（横浜開港資料館）
横浜のあゆみ（横浜開港資料館）
学校生活の移り変わり（学研）
緑政局ホームページ（横浜市）
牛込の獅子舞（牛込獅子保存会）
くらしの移り変わり（学研）
庶民のくらしと道具（学研）
交通・通信の歴史（ポプラー社）
科学王（福武書店）
1億人の昭和史（毎日新聞社）
みどり新聞（みどり新聞社）
多摩田園都市（東京急行電鉄）
創立十周年記念誌「あざみ」（あざみ野第一小学校）
山内小学校百年の歩み誌（山内小）
わたしたちのやまうち（山内小）
元石川小記念誌（元石川小）
あざみ野第二小記念誌（あざみ野第二小）
わたしたちのまち嶮山（嶮山小）
山内のあゆみ（音羽書房）
あざみ野のうつりかわり（あざみ野第一小）

取材協力・資料提供（敬称略・順不同）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 牛込獅子保存会 | 満願寺 |
| 松本 剛（松本農園） | 吉村 昭司（浜梨） |
| しだぶんぐ あざみ野店 | （株）さどや あざみ野店 |
| 手打ちそば たつ実 | もあ 四季彩館 |
| あざみ野商店会(協) 事務局 | （株）東急ストア あざみ野店 |
| セブンイレブン 横浜あざみ野店 | |

※今回新たに取材させていただいた方のみ掲載させていただきました。

あざみ野のうっりかわり

発行日 平成17年3月14日

発行 あざみ野第一小学校

横浜市青葉区あざみ野四丁目6-1

(045) 902-7152



